

# 第三次国分寺市子ども読書活動推進計画

(平成 31 年度～平成 36 年度)

平成 31 年 4 月  
国分寺市教育委員会



## 目次

I	計画の基本的な考え方	1
1	計画の目的	1
2	計画の背景	2
	（1）国のこれまでの動き	
	（2）東京都のこれまでの動き	
	（3）国分寺市のこれまでの動き	
3	計画の期間及び対象	4
4	子どもの読書環境の変化	4
5	計画の方針	6
	（1）市立図書館による子どもの成長に合わせた事業の展開	
	（2）子どもたちの国際理解を深めるための事業の展開	
	（3）読書や図書館利用に配慮が必要な子どもたちに向けた支援	
	（4）地域における子どもの読書活動を充実させるための支援と連携	
	（5）関係部署・機関との緊密な連携	
	（6）図書館事業の広報と子ども読書活動普及の促進	
II	これまでの取組	9
1	乳幼児を対象とした取組	9
2	小学生を対象とした取組	11
3	中学生・高校生等Y A世代を対象とした取組	14
4	読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもを対象とした取組	17
5	関係機関・団体による取組	18
III	アンケート調査結果から見える現状	20
1	乳幼児の読書環境	20
2	小学生の読書環境	22
3	中学生の読書環境	26
4	読書や図書館利用に配慮が必要な子どもたちの読書環境	31
IV	本計画の重点的な取組	32
1	乳幼児を対象とした取組	32
2	小学生を対象とした取組	34
3	中高生・Y A世代を対象とした取組	35
4	読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもたちへの取組	36
5	関係機関・団体との連携に関する取組	37

6	図書館事業の広報・子ども読書活動普及の促進に関する取組	38
7	多文化・多言語対応への取組	39
V	計画の実現に向けて	40

(\*) が付いている用語については、巻末の資料編に用語解説があります。

## I 計画の基本的な考え方

### 1 計画の目的

この計画は、子どもたちの以下の力を育むための読書環境の整備を図ることを目的とします。

- (1) 読書を通じた子どもの情緒や感情の育成
- (2) 子どもの成長に合わせた語彙力・読書力の向上
- (3) 読書による自己能力と自己解決力の向上

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成 13 年法律第 154 号）第 2 条（基本理念）に「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と記されています。

子どもは、日常生活の中で見聞きし体験すること以外に、読書から様々な世界の存在や考え方を知ります。本の世界を体験することで、子どもは想像する力を身につけ、他者の気持ちを思いやり、理解することができるようになります。また、読書で培った世界は精神的なよりどころとなり、生涯を通して自分を支えてくれるものでもあります。

また、読書を通して、子どもが自ら課題を見出し、考え、判断、表現するための資質や能力を育むことができます。習慣的な読書によって、子どもは読解力や豊富な語彙力、文章を構成する力などを身に付けます。これらは、子どもたちが生きていく上で必要になる基本的な力です。様々な本との出会いは、豊かな情緒を育みます。また、読解力を身に付けることは、多様な疑問や課題を解決する糸口となり、子どもに豊かな人生を築くための多くの選択肢を提供します。

この計画により、子どもが読書を通して様々な力を身に付け、読書を楽しいと感じ、自ら読書に親しみ、豊かな人生を築くことができるように、市立図書館はそのきっかけ作りを大切にした読書環境の整備を学校図書館、児童館をはじめとする子育て関連部署・機関等と連携をしながら推進していきます。

## 2 計画の背景

### (1) 国のこれまでの動き

- 平成 13 年 12 月 「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行
- 平成 14 年 8 月 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定  
(平成 20 年 3 月第二次基本計画, 平成 25 年 5 月第三次基本計画 策定)
- 平成 26 年 7 月 「学校図書館法」改正 (学校司書の配置について)
- 平成 30 年 4 月 第四次基本計画策定

国の第三次計画では、小中学生の不読率<sup>(\*)</sup>は改善傾向にありましたが、高校生については依然高い傾向にありました。また、スマートフォンの普及等の子どもを取り巻く情報環境の変化により子どもたちの読書習慣も大きく変化してきました。第四次の計画では、こうした変化に関する実態把握と分析の必要性を打ち出しています。

#### 国の第四次計画の主なポイント

- ① 読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進
- ② 友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実
- ③ 情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析

### (2) 東京都のこれまでの動き

- 平成 15 年 3 月 「東京都子ども読書活動推進計画」策定
- 平成 21 年 3 月 「第二次東京都子供読書活動推進計画」策定
- 平成 27 年 2 月 「第三次東京都子供読書活動推進計画」策定

東京都では、第二次計画における不読率の大幅な改善を踏まえ、第三次計画では、乳幼児、小・中学校、都立学校、特別な支援を必要とする児童・生徒ごとに成長に応じた不読率の改善及び読書の質を高める取組を行うことを基本方針としています。

#### 東京都の第三次計画の主な目標

- ① 不読率の更なる改善
- ② 読書の質の向上
- ③ 読書環境の整備

### (3) 国分寺市のこれまでの動き

平成 20 年 11 月 「国分寺市子ども読書活動推進計画」策定

平成 25 年 3 月 「第二次国分寺市子ども読書活動推進計画」策定

市の第二次計画策定時，国の第三次計画においては，家庭と地域等社会全体で子どもの読書環境の整備に取り組む姿勢や読書活動を支える環境の整備が重要視され，また，東京都の第二次計画では，不読率の改善や読書の質の向上に重点が置かれていました。

「国分寺市子ども読書活動推進計画」は，平成 19 年 3 月の「第四次国分寺市長期総合計画」（平成 19 年度～28 年度）において，具体化すべき計画として位置づけられ，市では，計画策定時，こうした国や東京都の計画の趣旨を踏まえて以下の 5 点を基本的な考え方とし，それに基づいた取組を行ってきました。

#### 市の第一次・第二次計画の基本的な考え方

- ① 子どもの生活範囲や成長段階に応じて読書に親しむ機会をどの子にも十分に提供します。
- ② 子どもが自ら読書に親しみ，読書への関心を深めていくことができるように，読書意欲をおこさせる資料や読書活動に役立つ情報をそれぞれの世代に合わせて提供します。
- ③ 子どもの生活の場である家庭・学校・地域が連携をとりあいながら，子どもと本を結び付けるために，市立図書館や学校，その他の子どもに関係する施設などが協力し，地域の方々との協働により読書活動を推進していきます。
- ④ 子どもと読書を結び付けるためには，大人が子どもたちの身近にいて，その役割を果たす必要があります。そのためには人材の育成と子どもと読書を結び付ける支援を，図書館など子どもに関係する部門をはじめ市の行政全体で行っていきます。
- ⑤ 子どもの読書の大切さを家族や子どもの身近にいる大人が理解するための啓発活動を行います。

### 3 計画の期間及び対象

本計画の期間は、「国分寺市総合ビジョン」及び「国分寺市教育ビジョン」の計画期間を踏まえ、平成 31 年度から平成 36 年度までとします。

対象は、「子ども読書活動の推進に関する法律」第 2 条に「子ども（おおむね一八歳以下の者をいう。）」と明記されているとおり、おおむね 18 歳以下の子どもとします。

### 4 子どもの読書環境の変化

近年、インターネットやスマートフォンの急速な普及により、子どもは膨大な量の情報にさらされています。大人ですら、あふれる情報の中から取捨選択をする事が難しい時代です。こうした時代を生き抜いていくためにも、文章をただ文字として正しく読むだけでなく、筆者の意図やその背景を読み解く力が必要となります。その力を身につけるために、読書は大切な手段です。

市立図書館の利用登録状況を見ると、平成 22 年度から未就学児の登録が増えています。この年度には、第二次計画の取組として、3～4 箇月児健康診査会場で乳幼児向け絵本リスト及びおはなし会等の案内を配布し始めています。平成 29 年度に実施した読書活動等に関するアンケートでは、文庫の参加者が、小学生よりも小さい子が親子で参加することが多くなっているという、地域・家庭文庫等の利用者の低年齢化を示す結果も出ており、読書活動が低年齢のうちから活発に行われていることを示しています。

文部科学省学校図書館の運営上の重要な事項における望ましい在り方を示す「学校図書館ガイドライン」の中では、「学校図書館の目的・機能」として、学校図書館は、児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導の場である「読書センター」機能と、児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」機能、児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり情報の収集選択活用能力を育成したりする「情報センター」機能を有するものと定められています。

市内では、平成 22 年度に、小・中学校図書館へ学校司書が全日配置されました。このことにより、小・中学校図書館は、これらの機能がより一層発揮されるようになりました。

学校図書館法に、学校図書館は「図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと」と規定されています。学習において必要な資料を検索・利用するよう指導することは、学校図書館の役割の中でも核とな



る部分であり、児童・生徒の将来に役立つ「自分で解決する力」を育てます。

市内の全ての小・中学校では「朝の読書」(\*)を行っており、子どもたちは日々、本と触れ合う時間を持っています。読書週間等、学校図書館を中心とした読書推進活動も盛んに行われており、子どもたちがさらに読書への関心を持つような努力がなされています。

中学校では、生徒貸出(生徒が個人で読むために学校図書館で貸出を受けるもの)が、学校司書が全校配置された次年度の平成23年度と5年後の平成28年度とを比較すると、平成23年度の15,211冊から平成28年度は23,072冊に増え、市内全校で7,500冊近くも生徒貸出が増加したという統計結果も出ており、子どもたちに読書の習慣が育ち、根付いていることが分かります。

授業では、小学校新学習指導要領の改訂に伴い、移行期間を経て平成32年度から小学3年生に外国語活動の時間が導入され、5、6年生では外国語科の授業が始まります。東京都教育委員会は、生徒の「使える英語力」の向上を図るため、都内で40の高等学校を英語教育推進校に指定しています。都立国分寺高校もその中に入っており、特に「聞く」、「話す」に重点を置いたきめ細かい指導が行われています。

また、学年を問わず、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に伴って、様々な国の文化や諸言語についての学習に重点が置かれています。あわせて、日本の文化を学んでいくことも大切です。

国分寺市教育委員会では、市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として「国分寺市教育ビジョン」(平成27年2月)を策定しました。施策の方向性Ⅳ「だれもがいつでも学び、健やかで心豊かに活動するまちづくりを推進します」の中のビジョン1「だれもがいつでも学べる学習機会を充実します」において、図書館における資料・情報提供の充実、家庭での学習支援の推進、障害者に対する学習支援の推進、地域の課題解決に向けた学習の充実、地域情報の提供の拡充、学習活動の発表の機会の拡充等、を主要施策としています。また、ビジョン2「学校や地域と共に学びます」において、学校との協働事業の推進、近隣の関連機関・民間機関との連携事業の推進、行政等関係部署と連携した学習機会の提供の推進等がうたわれており、これらを踏まえて計画を策定しました。

平成29年に東京都立多摩図書館が市内に移転・開館し、近隣の小・中学校の児童・生徒をはじめ、地域の子どもたちが都立多摩図書館を気軽に利用できるようになりました。都立多摩図書館の豊富な資料に触れることで、さらなる読書活動の発展が期待できます。

## 5 計画の方針

市立図書館では、第一次計画策定時に掲げた5つの取組の基本的な考え方に基づいた取組を、第二次計画でも行ってきました。第三次計画では、第二次計画の成果と課題、平成29年度に実施したアンケート調査結果等を踏まえ、子どもを取り巻く環境の変化に即した内容に取り組んでいきます。また、第一次計画、第二次計画において達成した事業の中で効果があったものを継続しつつ、新たな課題解決に向けた計画とし、本計画の目的を達成するために、以下のように読書環境の整備を図ります。

### (1) 市立図書館による子どもの成長にあわせた事業の展開

0歳から18歳までの子どもたちが本に親しみ、豊かな想像力を育むと同時に、学習の楽しさを身に付け、将来に向けた夢や希望を育むためには、それぞれの成長の段階に合わせた読書環境の整備が必要です。

第一次計画、第二次計画において取り組んできた事業のうち、本に触れる機会、読書の素晴らしさを伝える機会、親子や地域における読書活動の支援、子どもの自主的な読書を促すための支援、学習・調査への支援、学校図書館をはじめ関係部署との連携等について継続すると同時に、社会情勢の変化や利用者のニーズの変化に沿った事業を実施していきます。

### (2) 子どもたちの国際理解を深めるための事業の展開

英語の学習層が広がったことを踏まえ、子どもたちが英語をきっかけにして、その他の言語にも興味を持てるように、外国語資料の収集と利用促進を図ります。また、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に当たり、「世界ともだちプロジェクト」(\*)が各小・中学校で展開されていることを踏まえて、オリンピック・パラリンピック関連の図書のほか、諸外国の文化や言語に関する図書、日本の伝統文化に関する図書も充実させていきます。

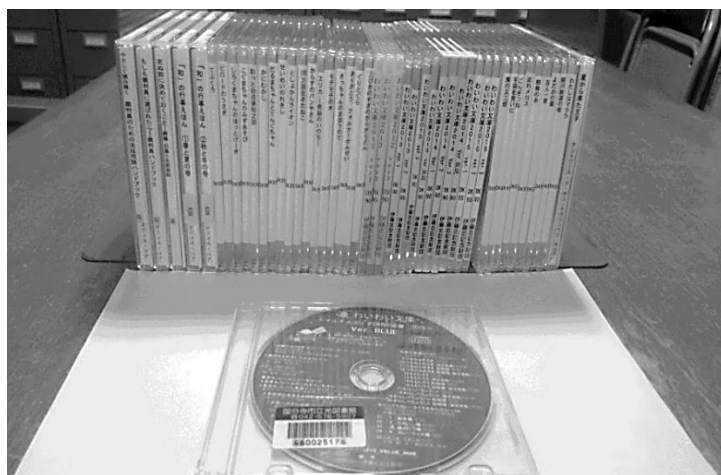
第二次計画で3ヵ国語の利用案内を作成していましたが、日本語以外を母国語とする子どもたちにとっても図書館が利用しやすいように、館内の環境やホームページ等を整備していきます。

### (3) 読書や図書館利用に配慮が必要な子どもたちに向けた支援

これまで市立図書館では、児童向けのDAISY(\*)やマルチメディアDAIS

Y(\*)、大活字本、点字絵本などを収集してきました。さらに資料を充実するとともに、それらを必要としている子どもたちと保護者、市内の特別支援学級に向けて積極的に広報活動を行い、保護者へ向けた利用案内を作成します。また、専用の再生機器の増設や団体貸出が可能なマルチメディアDAISY「わいわい文庫」(\*)等の長期貸出も視野に入れ、収集してきた資料の活用を図ります。

団体貸出では、「こどもの発達支援センター つくしんぼ」へ専用セットを貸出しています。市立図書館へ来館しなくても、子どもたちの身近に本があり、手に取れる環境であるよう引き続き支援していきます。また、今後もニーズに合った支援ができるよう、学校や各施設に聞き取りを行い、緊密な連携を図ります。その他にも、来館するのが難しい、又は本を読むのが難しいなどのハンディキャップのある子どもたちの読書活動の推進を図ります。



マルチメディアDAISY

#### (4) 地域における子どもの読書活動を充実させるための支援と連携

市内の地域・家庭文庫(\*)、おはなしグループ(\*)の活動は、昭和45年に始まり、徐々に活動の輪が広がっています。地域・家庭文庫は、子どもの身近な場所で本と接する機会を設けており、乳幼児の保護者にとっては情報交換の場所でもあります。おはなしグループは様々な場所へ、出前(\*)の形で子どもへおはなしを届けています。こうした団体が、地域で活発に活動を展開・継続していくために、各団体の活動の支援が課題となっています。活動の継続のために、市立図書館がともに協議・研究し、課題解決に当たります。

## (5) 関係部署・機関との緊密な連携

子どもの読書環境の整備に当たり、子どもに関わる部署や機関と連携して取り組む必要があります。学校図書館、児童館、公民館、子ども家庭支援センターなど、すでに連携している市の関係部署とも、さらなる情報共有と連携を図ります。

また、団体貸出等で資料提供を行うとともに、図書館職員の出前事業など、子どもたちの読書のきっかけづくりを積極的に行います。団体貸出については、より円滑な貸出のために運用方法を適宜見直していきます。

## (6) 図書館事業の広報と子ども読書活動普及の促進

図書館事業の広報は、主にチラシの配布や、館内ポスターなどの掲示とあわせて、ホームページやツイッターを活用しています。今回実施したアンケート調査では、中学生になると、回答者全体の21%がインターネットやSNSを活用して情報を収集していると答えています。こうした年齢層向けに情報の内容・発信方法について改善を図ります。

親世代も、子ども向けのイベント等の情報を、紙媒体の情報に加えて、インターネット等からも収集しています。中・高校生だけでなく、保護者等、幅広い層に向けての情報の発信方法の改善を図ります。

講演会等の行事情報については、内容を閲覧可能なコンテンツとして保存し、行事終了後も、情報の活用を図ります。

図書館の基幹業務である貸出・返却・レファレンス等個人利用に対するサービスに加えて、利用者同士がつながり、図書館や本の魅力を感じてもらえる仕組みも、図書館に求められています。学校その他、関係機関や市民団体とも連携を深める中で、子どもたちが主体となって取り組んでいける事業を通して、読書の普及を図っていきます。



図書館・公民館・ふるさと文化財課連携 夏休みの「子どもブッククイズラリー」

## Ⅱ これまでの取組

第二次計画では、前述の「国分寺市のこれまでの動き（3p）」で述べた5つの基本的な考え方に沿い、対象年齢別に様々な取組を行いました。対象者である子どもの貸出冊数を平成27年度から29年度の間で比較してみると、0歳から10歳までの貸出数は約5%増加、11歳から15歳までは23%増加しています。新規登録者数では、0歳から5歳の登録が平成22年度に大きく伸び、その後も継続して微増傾向で推移しています。また、団体登録数が増え、学級文庫を中心とした学校支援に伴う資料貸出が、継続して増加しています。

家庭での読書啓発事業として行っている「家庭読書の日」(\*)（平成25年制定）の関連行事も定着しています。「朝の読書」などを行う小学生の保護者を対象とした「読み聞かせ講習会」(\*), 「子ども読書の日（4月23日）」（平成13年制定）にちなんだ「子ども読書の日講演会」は、子どもの読書活動を支援するための大人に向けた啓発事業として行っています。開催後のアンケート調査ではどちらの事業も85%以上の参加者が満足という回答がありました。

### 1 乳幼児を対象とした取組

第一次計画で作成した、0～3歳の子どもの保護者向けの「ひよこえほん 0～3歳のえほんリスト」と、「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」の配布を平成21年度から開始し、継続しています。健康推進課の3～4箇月児健康診査における配布が定着し、リストをきっかけに図書館に絵本を探しに来たり、乳幼児向けおはなし会に参加する等の動きが活発になり、新規登録者の増加につながりました。乳幼児向けおはなし会については、地域によって参加者数にばらつきがあり、今後は開催時間帯等の再検討及び広報活動の工夫をする必要があります。



「ひよこえほん」

※下表の「目標項目」の番号は3pの「国分寺市子ども読書活動推進計画の取組の基本的な考え方」に対応した項番です。

事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
3～4箇月児健康診査時に健診用リーフレットを配布  (関係課) 健康推進課	平成 21 年度～ 通年	「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」 「ひよこえほん」の配布。 0歳～未就学児の新規登録が増加。平成21年度と平成22年度を比較すると100人増。 「ひよこえほん」は年間約1,000部配布。	②⑤	継続
赤ちゃん絵本コーナーの整備	随時	「ひよこえほん」等のリストに掲載した定評のある絵本を各館複本で所蔵。赤ちゃん絵本コーナー図書買替率約25%	①②	継続
「小さい子のためのおはなし会」の実施	各館 月1回	<参加者数> 平成25年度1回当たり平均7.7人 平成29年度1回当たり平均9人 地域により開催時間等の変更の検討も必要。	①②⑤	継続
「おはなしのぼうけん4～6さいのブックリスト」の配布	平成 23 年度～	リストに掲載した本は、リュックサックのマークのシールを貼って配架。リストは年間約300部配布。	①⑤	継続
「行事向け紙芝居リスト」の作成と配布	平成 23 年度～ 年1回	保育園・幼稚園などで季節の行事を行う際に参考になるテーマ別リストの作成。 利用者の必要とするリストの研究が必要。 (印刷数) 平成25年度 500部 平成26年度 300部 平成27年度 250部 平成28年度 250部 平成29年度 0部	③④	見直し

## 2 小学生を対象とした取組

学校図書館システムの整備によって、学校から市立図書館の資料を直接予約できるようになり、システム変更前と比較して調べ学習への貸出数が大幅に増加しました。システム変更のあった平成26年以前と比較すると、平成28年度では約3倍の利用があり、コンテナ便(\*)の導入により円滑な資料提供が行われています。

調べ学習への団体貸出、市民グループによる学校への出前のための資料貸出等、市立図書館と学校図書館の連携は、全日配置された学校司書を通じてより緊密なものとなりました。

小学生の「朝の読書」で読み聞かせをする保護者を対象にした「読み聞かせ講習会」は、第一次計画時から継続して開催し好評を得ています。託児の導入や参加方法を事前予約にしたことにより、より参加しやすくなり満足度の高い講習会となっています。講習会後のアンケートに「家庭でわが子に向けた読み聞かせの方法も学びたい。適した本の選び方を知りたい。」「乳幼児に対する読み聞かせをしたいので、より低年齢向けの読み聞かせ講習会を望む」といった要望があり、新たな講習会の企画が求められています。

小学生の保護者に向けては、このような講習会のほか「小学生への読み聞かせに向く絵本のリスト」を提供していますが、図書館ホームページ等を活用して読み聞かせに関する情報をより簡単に入手できるようにしていく必要があります。

市立図書館では、児童が保護者ととも家庭で読書を楽しむ目的で制定された「家庭読書の日」にちなみ、毎年度「としょかん福袋」(\*)を貸し出し、利用者から好評を得ています。対象年齢別、テーマ別などのセットを作成しました。

子どもたちへ手渡すおすすめ本や新刊案内リストは、内容の充実したものを継続して作成していくと同時に、必要な利用者に確実に届くように、リストの配布先の見直しが必要です。児童向けの地域資料リスト「国分寺を知るための子どもの本 小学生向け」は自由研究等に活用されていますが、新たに収集した地域資料の追記など改訂が必要です。



家庭読書の日「としょかん福袋」

※下表の「目標項目」の番号は3pの「国分寺市子ども読書活動推進計画の取組の基本的な考え方」に対応した項番です。

事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
地域・家庭文庫・おはなしグループ等による校内での「おはなしの出前」(*)に伴う資料の貸出	随時	「おはなしの出前」の後に子どもたちが教室内で手に取れるよう、資料を揃え団体貸出を行った。活発な活動とともに貸出冊数増加。	①②③④	継続
「学級文庫貸出用図書」の選定・購入	通年	対象学年別のセットを選定・購入(1セット40冊) 平成25年度 高学年5セット 平成26年度 中学年5セット 平成27年度 買替73冊 平成28年度 中学年5セット 平成29年度 高学年5セット	①②	継続
調べ学習のための資料の充実・活用  (関係部署) 小学校図書館	通年	コンテナ便の運用により円滑に提供。 授業テーマは通年スケジュールで学校と市立図書館間で情報共有。 〈調べ学習貸出冊数〉 システム変更前 平成23年度 496冊 システム変更後 平成28年度 1,344冊	②③	継続
おはなし会の実施	市内4館 月1回 市内1館 月3回	館によっては参加者減。 〈参加者数〉 平成25年度 1回あたり平均3.7人 平成29年度 1回あたり平均3.8人 開催時間等の変更の検討が必要。	①②⑤	継続
家庭における読書啓発	平成26年度～ 年1回	「家庭読書の日」に毎年度「としょかん福袋」の作成と貸出各館25セット貸出。 利用者から継続の要望あり。	①②④⑤	継続
図書館職員による出前事業 (サマースクール (*)含む)	随時	対象は主に低学年。 おはなしグループと共に実施する場合もあり。 実施後は図書館内で関連資料を展示。 〈出前事業実施回数〉 平成25年度 16回 平成29年度 6回	① ②③⑤	継続



事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
新刊案内 「このほんよんだ？」 発行	年4回 平成17年度～	来館者に配布。利用が少ない。今後は図書館ホームページでの展開を検討。印刷部数・配布先を検討し、利用促進を図る必要あり。発行回数変更なし。	②⑤	拡充
おすすめ本リスト 「おはなしたからばこ」発行	平成22年度～	低・中・高学年別、カラー印刷で児童に好評。各館年間約60部配布。随時内容更新、増刷。	①⑤	継続
地域資料の充実	平成25年度～	地域資料リスト「国分寺を知るための子どもの本 小学生向け」発行。児童向け地域資料パスファインダー(*)として活用。各館年間約40部配布。随時内容更新、増刷。	②⑤	継続
保護者向けリスト 「小学生への読み聞かせに向く絵本のリスト」(正・改訂版)発行	平成21年度・平成26年度	保護者が「朝の読書」等に活用。改訂を行い2種作成。各館年間40部以上配布。文庫・おはなしグループと共同作成。今後も更新、増刷。	②③④⑤	継続
地域における読書活動への支援	平成20年度～  年1回	集団を対象とした読み聞かせの講習会「読み聞かせ講習会」の開催。 平成26年から託児導入 〈参加者〉平成25年16人 平成29年26人	④⑤	継続
「学校と市立図書館等連絡協議会」開催  (関係課) 学校指導課	平成19年度～  年2回	学校図書館と市立図書館の情報共有のための協議会。図書館ごとに担当エリアを持ち、各小中学校と緊密に連絡。	①④	継続

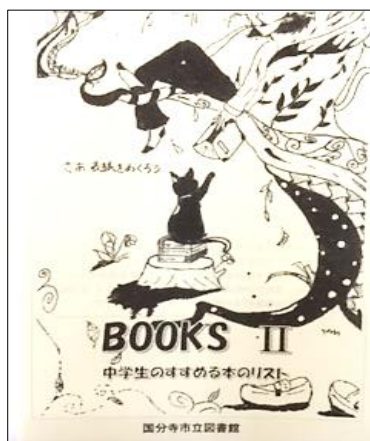
事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
日本語以外を母国語とする子どものための利用案内作成	随時	英語版・中国語版・ハングル語版を、全館で配布。	①	継続
外国語絵本・外国語図書の充実	平成 20年度～	既存の外国語絵本に加え、英語・中国語・ハングル語等の絵本を全館で購入。  平成 20～27 年度 310 冊購入	①②	拡充

### 3 中学生・高校生等YA(\*)世代を対象とした取組

市立図書館では、毎年新中学1年生にYAコーナーの紹介やおすすめ本等を載せた案内パンフレット「中学生のみんなへ 図書館へ行ってみよう」を配布しています。このほかに、第一次計画で作成した「BOOKS 中学生のすすめる本のリスト」に続いて、第二次計画では「BOOK II 中学生のすすめる本のリスト」を発行しました。これは、中学校の図書委員会におすすめ本の原稿を依頼し、市立図書館で編集・製本したものです。中学生から中学生へ読書の楽しみを発信するものとして市内全中学校へ配布しました。また、並木図書館と第五中学校のコラボリスト「厳選！！みんなのFAVORITE BOOKS」も、図書委員の本への思いとアイデアが入った楽しいリストとなりました。

この世代は、小学生以下と比較して、市立図書館の利用が少なくなる世代です。今後、図書館ホームページにもYA世代によるおすすめ本の紹介文を掲載するなど、YA世代自身が参加できるような工夫も必要です。

自習や居場所としてのスペースを必要とする世代でもあり、アンケートの回答の中でも図書館で自由に過ごせるスペースが求められています。

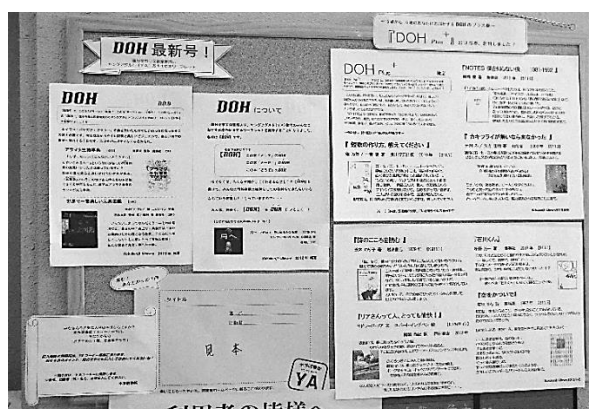


「BOOKS II」

※下表の「目標項目」の番号は3pの「国分寺市子ども読書活動推進計画の取組の基本的な考え方」に対応した項番です。

事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
調べ学習のための 資料貸出・ 授業テーマの情報共有  (関係部署) 中学校図書館	通年	コンテナ便の運用により円滑な 提供。 授業テーマは通年スケジュール で学校と市立図書館間で共有。 <調べ学習貸出冊数> システム変更前 平成23年度 504冊 システム変更後 平成29年度 550冊	①②③	継続
図書館職員による 出前事業	随時	実績なし。	②③⑤	見直し
YAコーナーの充実・P R	平成20 年度～ 年1回  平成23 年度～ 年4回	新中学1年生向けの利用案内 YAコーナー案内パンフレット 「中学生のみんなへ 図書館へ 行ってみよう」を発行。 平成28年度に内容を更新。 紹介本 7冊 YA向けテーマ別おすすめ本リ ーフレット 「DOH」(*)発行。	②③⑤	継続  拡充
中学生参加によるブック リストなどの発行	平成22 年度  平成27 年度  平成29 年度	「BOOKS 中学生のすすめ る本のリスト」 各校図書委員が原稿を作成。 今後も増刷，継続配布。 紹介本 BOOKS 50冊  中学校図書委員会とのコラボ企 画リスト「厳選!!みんなの FAVORITE BOOK S」発行。 第五中学校図書館・図書委員会 と協力して作成，配布。  「BOOKS II 中学生のす める本のリスト」発行。 各校図書委員が原稿を作成。 今後も増刷，継続配布。 紹介本 BOOKS II 48冊	②③④	継続  継続  継続

事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
高校生等による読書情報発信の支援	平成 26 年度	高校生が選ぶ本のリスト「巡る」発行。 市内在住の高校生が原稿を作成。今後も増刷，継続配布。 図書館ホームページで公開。 紹介本 38冊	②③⑤	継続
地域資料の充実	平成 25 年度～	地域資料リスト「国分寺を知るための子どもの本 中学生以上向け」発行。 生徒向け地域資料パスファインダーとして作成。 随時内容更新，増刷。	②⑤	継続
高校生等に向けたテーマ別ブックリストの発行	平成 24 年度～ 年 1 回	「DOH+」(*)発行。 来館者へ配布，利用が少ない。 今後図書館ホームページでの展開を想定して，印刷部数を見直す。発行回数は変更しない。	②⑤	拡充
「学校と市立図書館等連絡協議会」開催  (関係課) 学校指導課	平成 19 年度～ 年 2 回	学校図書館と市立図書館の情報共有のための協議会。図書館ごとに担当エリアを持ち，各小中学校と緊密に連絡。	③④	継続
日本語以外の言語の利用案内作成	随時	英語版・中国語版・ハングル語版を，全館で配布。	①	継続
中学生向け団体貸出用セットの利用促進	平成 25 年度～	平成 24 年度までに 25 セット作成。 貸出実績が少なく，セット以外の貸出方法を検討。	①②	見直し



本多図書館 YA コーナー「DOH」の掲示

#### 4 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもを対象とした取組

市立図書館では、読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どものために、DAISYやマルチメディアDAISY、点字図書などの収集を行っています。しかし、児童向けDAISY等の所蔵資料のPRが不足しており、今後の利用促進のための広報の工夫や見直しが必要です。

児童コーナーには、児童用の大活字本や、点字つき絵本、布の絵本を所蔵しており、誰でも自由に借りられるようになっています。

「こどもの発達センターつくしんぼ」には、平成20年度から図書の団体貸出を行っています。随時、新しいセットの作成やセット内の図書の補充を行い、セットの充実を図っていきます。

※下表の「目標項目」の番号は3pの「国分寺市子ども読書活動推進計画の取組の基本的な考え方」に対応した項番です。

事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
障害のある子どもたちへの 図書資料などの充実	年1回	専用図書セットを定期的に団体貸出、希望する資料を提供。 〈団体貸出数〉 平成25年度 120冊（3セット） 平成29年度 160冊（4セット）  （関係部署） こどもの発達センターつくしんぼ	①②③	継続
	通年	「声の図書」・点字図書・DAISY・マルチメディアDAISY・大活字本の選定・購入 対象児童の貸出利用がない。 積極的な広報と運用の見直しが必要。	①②	継続
	通年	点字絵本・布の絵本等の選定購入・貸出。 対象児童の利用が少ない。乳幼児などに貸出はされているが、広く利用されるためには積極的な広報が必要。	①②	継続

## 5 関係機関・団体による取組

市内の地域・家庭文庫の活動は昭和 45 年に始まり、現在に至るまで、地域の子どもたちが本に接することができる身近な場になっています。活動内容は、読み聞かせ、語り（素話）を中心に、わらべうた、本の貸出、工作等多岐にわたっています。

おはなしグループは、市立図書館のおはなし会で活動し、市内全域の学校やその他の施設で語りや読み聞かせを行い、子どもたちへ直接おはなしを届けています。

こうした活動が、それぞれの地域で発展・継続していくことが望ましいですが、参加する子どもの低年齢化に合わせた活動内容の変更、小学生が参加しやすい環境の整備、後継者の確保・育成等、課題も多くあります。

児童館、子ども家庭支援センターは、主にこうしたおはなしグループ等の活動の場となっています。

乳幼児・未就学児に向けたおはなし会等が行われるほか、小・中学生向けに、自由に手に取れる蔵書があります。市立図書館には、これらの資料を購入する際の選定方法や、児童が本に関心を持つような工夫のアドバイスが求められています。

平成 29 年 1 月に市内に移転・開館した都立多摩図書館は、児童・青少年資料及び雑誌を専門に収集・保存しています。市立図書館・都立図書館の役割を明確にしたうえで、都立多摩図書館の充実した蔵書や機能を活用し、相互に補完し合い、市内の子どもの読書環境の向上に向けて、継続した協議の場を持つことが必要です。



東元町文庫・もとまち図書館共催講演会

※下表の「目標項目」の番号は3pの「国分寺市子ども読書活動推進計画の取組の基本的な考え方」に対応した項番です。

(関係機関、団体と図書館との連携による子どもへの読書活動)

事業内容	時期等	取組・成果	目標項目 ※	方向性
地域における読書活動への支援	年4回程度	市立図書館との共催講演会の開催。 (取組団体) 地域・家庭文庫おはなしグループ	③④⑤	継続
	平成20年～ 年2回	「国分寺おはなし文庫連絡会と市立図書館の情報交換会」の開催。 (関係団体) 地域・家庭文庫おはなしグループ	③④	継続
	随時	図書館職員による出前事業の受入。 (関係部署) 学童保育所 子ども家庭支援センター 児童館	②⑤	継続
	定期的	市内施設内でのおはなし会・イベント等の実施。 (取組団体・関係部署) 地域・家庭文庫, おはなしグループ 学童保育所, 児童館 子ども家庭支援センター	③④	継続
	随時	小学校内での出前を含む行事参加・イベント実施。 (取組団体) 地域・家庭文庫 おはなしグループ PTAサークル	②④	継続

### Ⅲ アンケート調査結果から見える現状

本計画の策定に当たって、平成 29 年 5 月、アンケート調査を実施しました。調査方法は、市立図書館から紙面で直接又は郵送により配布し、無記名で回答し、図書館が回収する方法で行いました。

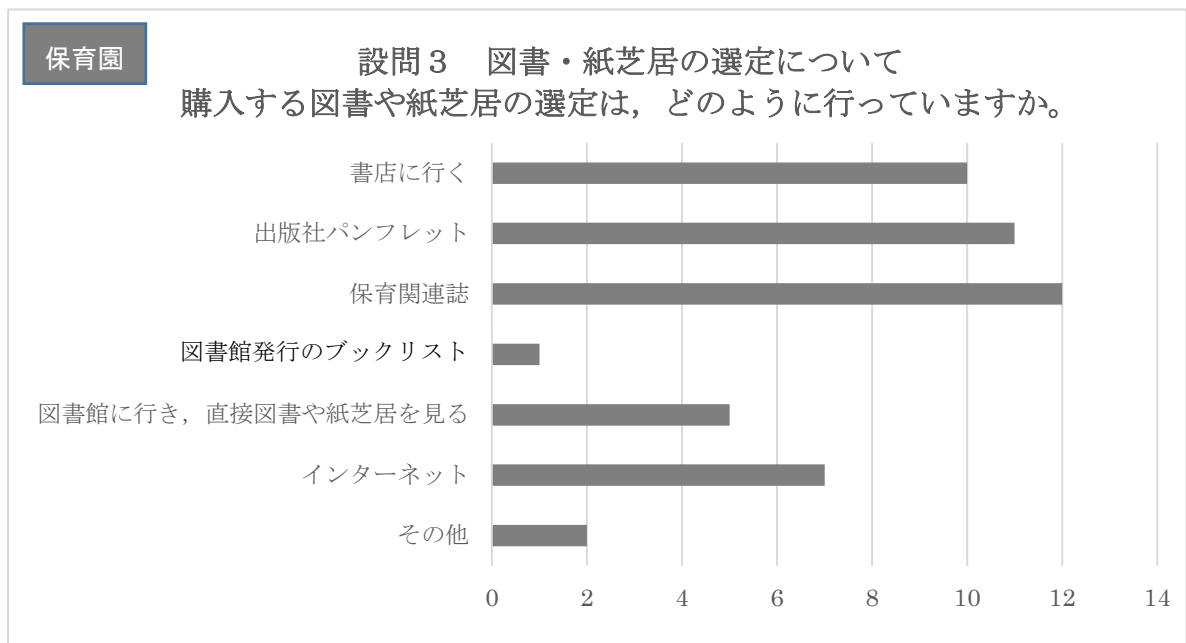
※アンケート依頼先・詳細内容については巻末資料参照

#### 1. 乳幼児の読書環境

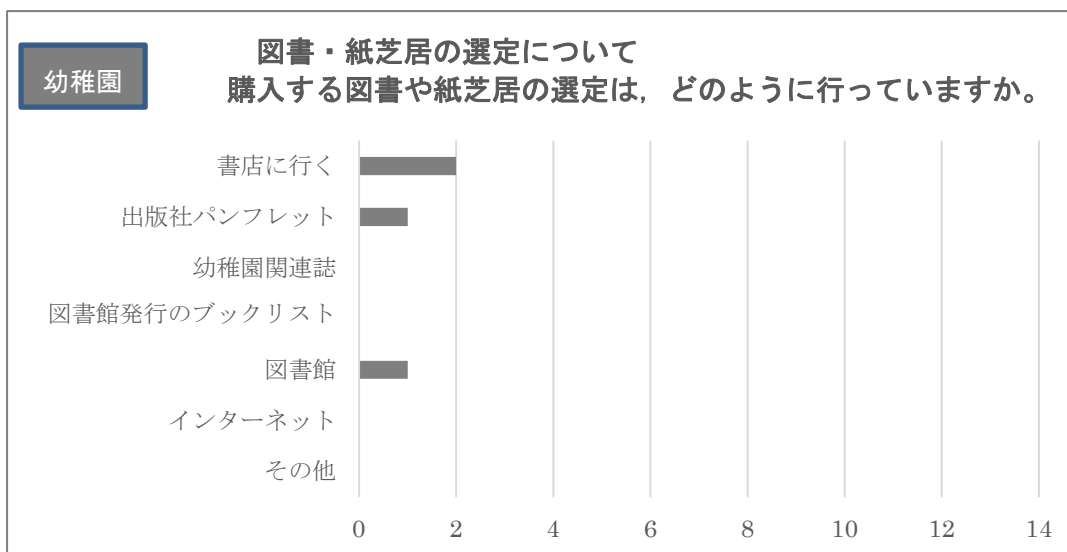
##### 公立保育園・私立保育園・幼稚園における読書活動等に関する調査結果

公立保育園，私立保育園，幼稚園を対象としたアンケートでは，園内の本の選定，保育中の読み聞かせ，市立図書館の利用状況等について調査しました。

本の選定に利用されるツール（設問 2・3）については，書店・出版社のパンフレット，保育関連誌，インターネットの情報を利用する保育園・幼稚園が過半数を占めました。市立図書館の発行する乳幼児向けおすすめ本ブックリストは，来館者にはよく利用されていますが，公立保育園では 5 園中 0 園，私立保育園では 12 園中 1 園，幼稚園では 2 園中 0 園という結果で，保育園・幼稚園では，あまり利用されていないことがわかりました。







保育中に読み聞かせを行う時間帯は、「日常活動の合間に」が、私立保育園 12 園中 11 園、公立保育園が 5 園中 4 園で、お昼寝前、おやつの前後等の決まった時間以外にも適宜行われています。絵本の読み聞かせ以外に、パネルシアター(\*), ペープサート(\*), エプロンシアター(\*)等視覚的に楽しめる道具を使用している園も多くありました。

図書館の利用状況については、自由記述部分に大型絵本に関する要望が複数ありました。保育園・幼稚園の団体貸出では、園の最寄りの図書館が利用されています。大型絵本は高価でかつ所蔵するにはスペースを要するため、保育園や幼稚園では購入するよりも図書館から借りることが多くなっています。

### 児童館における読書活動等に関する調査結果

児童館を対象としたアンケートでは、指導員又はそれ以外の方による絵本の読み聞かせや手遊びの実施状況、保護者に向けた絵本の紹介の有無について調査しました。

指導員による乳幼児とその家族を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び等について、曜日などを決めて定期的に行っている館が 6 館中 5 館、行事・イベントのときに行う館が 2 館あり、市内のほとんどの児童館で、乳幼児に向けた読み聞かせを定期的に行っていることがわかりました。また、指導員以外の方による読み聞かせについては、市内のおはなしグループが行っている館が 5 館ありました。その他に読み聞かせを行っている方として、親子ひろば(\*)職員、ボランティア、職場体験の中学生、地域包括センターの利用者がいます。

乳幼児の家族への乳幼児向け絵本の紹介の有無については、「している」が 2 館、「していない」が 4 館でした。

地域・家庭文庫及びおはなしグループ、PTA サークル等に  
おける読書活動等に関する調査結果

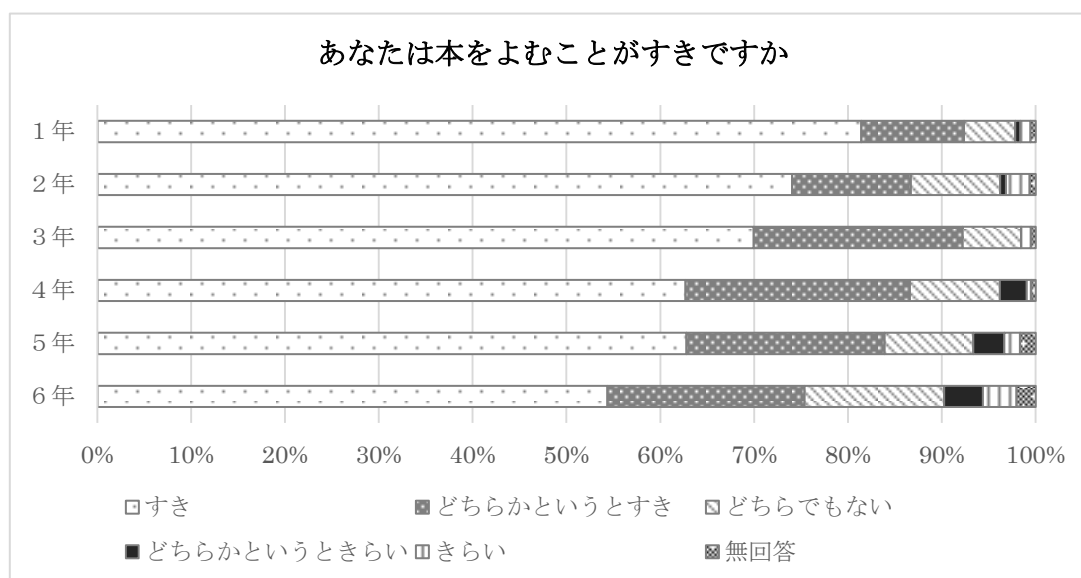
地域・家庭文庫を対象としたアンケートでは、文庫に来る子どもたちは低年齢化が進む傾向にあることがわかりました。よく参加する子どもの年齢層を調査したところ、「0～3歳」2団体、「4～6歳(未就学児の6歳)」3団体、「小学校低学年」2団体、「小学校中学年」1団体という結果になりました。小学生の参加が減少傾向にあり、乳幼児が参加者層の中心となりつつあることで、活動内容についても検討が必要な現状がわかりました。

2. 小学生の読書環境

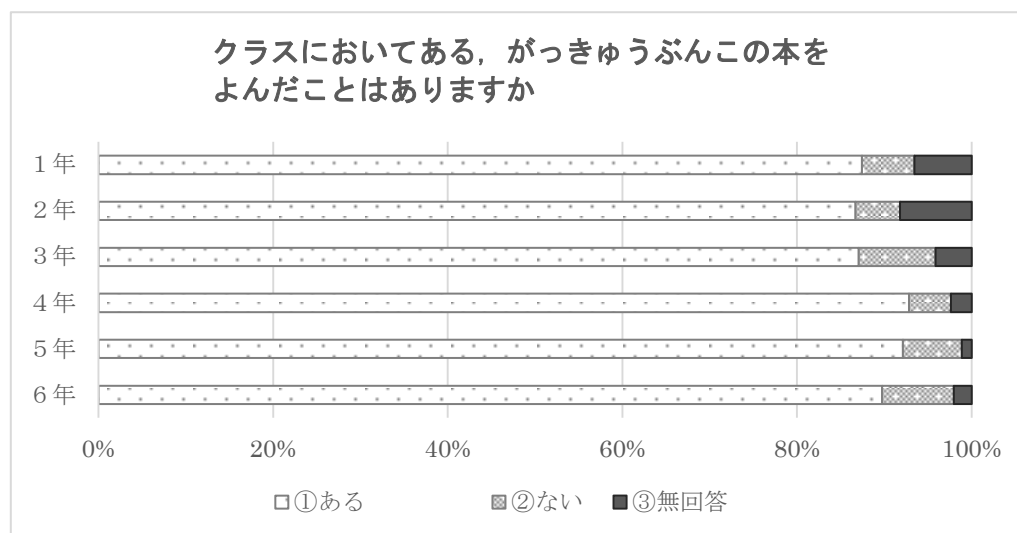
児童本人（第三小学校・第十小学校）に対するアンケートと、学校、児童館で児童に接している大人（学校司書、司書教諭、児童館職員、学童保育所職員）に対するアンケートを行いました。

小学生の読書活動に関する調査結果

読書の好き嫌い（設問2）については、①「好き」が全体の67%、②「どちらかというとき好き」が19%で、読書に興味がある児童が全学年の8割を占める反面、③「どちらでもない」、④「どちらかというとき嫌い」、⑤「嫌い」や無回答が高学年に多いという結果でした。



学校図書館の利用頻度、学級文庫の利用頻度、市立図書館の利用状況（設問3・4・5）では、学校図書館、学級文庫がよく利用されていることがわかりました。学校図書館では学校司書、教職員が子どもたちのために読書環境を整え、本に興味をもつよう働きかけています。学級文庫は、全学年で92%設置しており、多くの児童が本を手に取り読んでいることがわかりました。



市立図書館を利用していない児童に、その理由を問う（設問6）では、低学年では、図書館が遠い、図書館の場所を知らないなどの理由があり、高学年は時間を他のことに使う点が理由として挙がっています。

学校外の図書館利用で最も多い目的は本の貸出で、次いで館内閲覧・自習が多いという結果になりました。学校外の図書館で借りた本の内訳（設問8）については、約4割の児童が、物語の本・調べ物用の本を選んで借りています。中学年以降、趣味・実用図書の利用と「勧められた本」を探して借りるという利用が増えていきますが、全学年に共通して、気に入っている図書・シリーズを繰り返し読むという傾向がみられます。

市立図書館に対する要望（設問9）については、全学年で読みたい本を増やして欲しいという希望が多数ありました。「自分で本を作れる場所」等参加型の要素を持つ図書館の要望がありました。また、外国語資料や勉強のための資料を求める声も低学年からあります。中学年からは、図書館の増設や館内設備への意見がありました。学校以外の図書館で利用したサービス（設問7）については、3年生くらいから自習利用が増加し、勉強をする机・いすや、自由に使える場所を求める声が多くなっています。参加型のイベントや配達貸出のアイデアもあり、図書館への要望は多様化しています。高学年では現実的な要望が多く、学級文庫への貸出冊数を増やしてほしいという要望もありました。

## 小学生の読書活動に関する調査結果（学校司書，司書教諭）

小学校の学校司書・司書教諭を対象にしたアンケート調査では，学校・市立図書館共通システムの利用状況，調べ学習の資料を運搬しているコンテナ便，学校司書と司書教諭が連携して行う業務等について調査しました。

学校・市立図書館共通システムの利用については，8割の小学校でシステムを利用して，調べ学習のための資料を市立図書館に依頼していることがわかりました。一方，FAX，電話，メールもあわせて利用されています。また，市立図書館へ来館しての利用も9割あります。

システムの利便性（設問11）については，8割の小学校で「使いやすくなった」という回答が得られました。直接，市立図書館の資料を検索して予約できるようになった点で，以前よりも利便性が増したと考えられます。

調べ学習の資料を運搬するコンテナ便（設問12）については，月に1・2回程度の利用という学校が半数以上でしたが，毎回（毎週）利用しているところもあり，学校や時期によって依頼の件数や冊数に開きがあります。アンケートから，3割の学校で容量又は回数に不足を感じていることがわかりました。図鑑や百科事典等を使用した調べ方の指導等，一人ひとりの児童が個別に資料を使用する授業があり，図書館資料の更なる充実が望まれています。

このように，調べ学習のための準備のほか，学校司書と教員が連携した取組は多岐にわたっています。全ての小学校では読書週間等を設けて，読み聞かせを中心に，アニメーション(\*)やビブリオバトル(\*)等，児童が本に親しむための積極的な働きかけが見られます。日常の授業以外でも，行事・イベント等での取組，給食に関連づけたもの等，各校で工夫を凝らした読書指導が行われています。

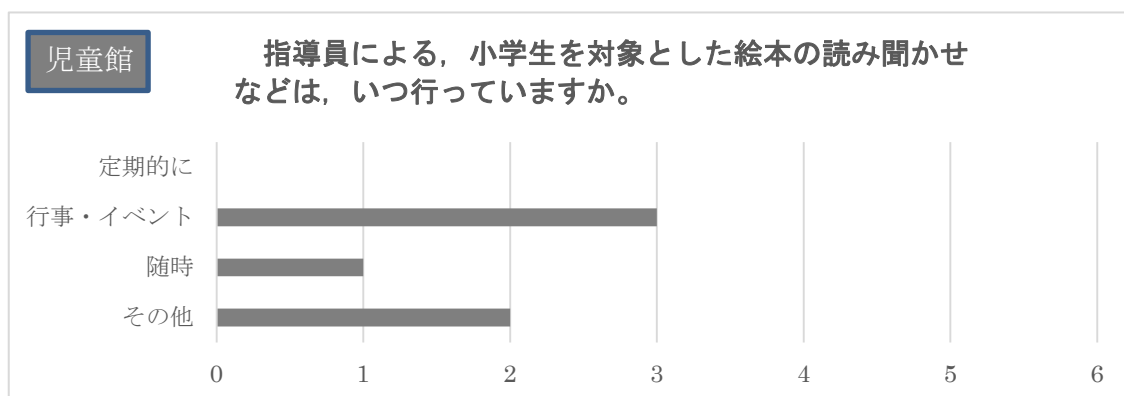
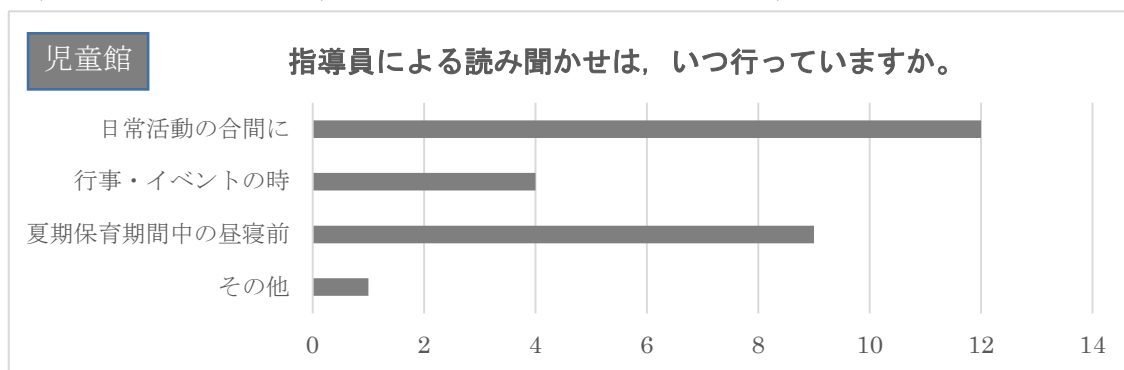
また，市民グループが行う出前授業として，「朝の読書」の時間を中心に，図書の時間，放課後子どもプラン(\*)，サマースクール等，一年を通して活発に学校での活動が行われています。長年，学校への出前を継続しているグループもあり，市民グループが小学生の読書環境に深く関わっていることがわかります。

## 学校外における小学生の読書活動に関する調査結果

児童館、学童保育所、地域・家庭文庫及びおはなしグループ、PTAサークル等を対象にしたアンケートでは、学校外での小学生の読書環境について調査しました。

児童館での指導員による読み聞かせは、行事・イベントのときに行う館が2館、随時行う館が1館、その他が3館という結果でした。他方、学童保育所では、日常活動の合間に行う（12か所）、行事・イベントのとき（4か所）と並んで、保育期間中の昼寝前に行うという回答が9か所ありました。

指導員以外が行う読み聞かせについては、児童館、学童保育所のどちらでも、市内のおはなしグループ、地域・家庭文庫が積極的に活動していることがわかりました。その他、職場体験の中学生や、出前授業の市立図書館職員が行う、という回答もありました。



絵本の読み聞かせ以外に行うものについては、学童保育所で、パネルシアターが4か所、エプロンシアターが2か所、「行っていない」が7か所ありました。

市立図書館の利用（団体貸出等）（設問9）については、学童保育所（17か所）では、「利用している（利用したことがある）」と「知っているが利用したことがない」が各7か所、「団体貸出を知らなかった」が3か所ありました。更に、団体貸出を利用したことがない学童保育所のうち、「利用してみたい」と「利用の予定はない」が各5か所で、二分されました。

市立図書館への要望（設問 11）については、学童保育所では、大型絵本の需要が高いことがわかりました。また、児童館では、購入時のアドバイスや本の並べ方など、児童の興味・関心を引く工夫について市立図書館のアドバイスを望む声もありました。団体貸出・返却等で来館した際に、個別に相談に応じる場面はこれまでもありましたが、要望に応じて、市立図書館が児童館等へアドバイス等を行うことも必要と考えられます。

「乳幼児の読書環境」でも触れていますが、地域・家庭文庫へのアンケートで、文庫を利用する子どもたちの年齢層が、乳幼児中心になってきています。

「小学校中学年」が参加すると回答したのは、3 団体に 1 団体に留まっており、第二次計画策定時と比べると、減少しています。その対策としてアンケートの自由記述部分からも、地域・家庭文庫が活動内容を検討し、小学生の参加者を増やすための工夫をするとともに、参加した小学生が興味・関心を持てるようプログラムなどを工夫していることがわかりました。

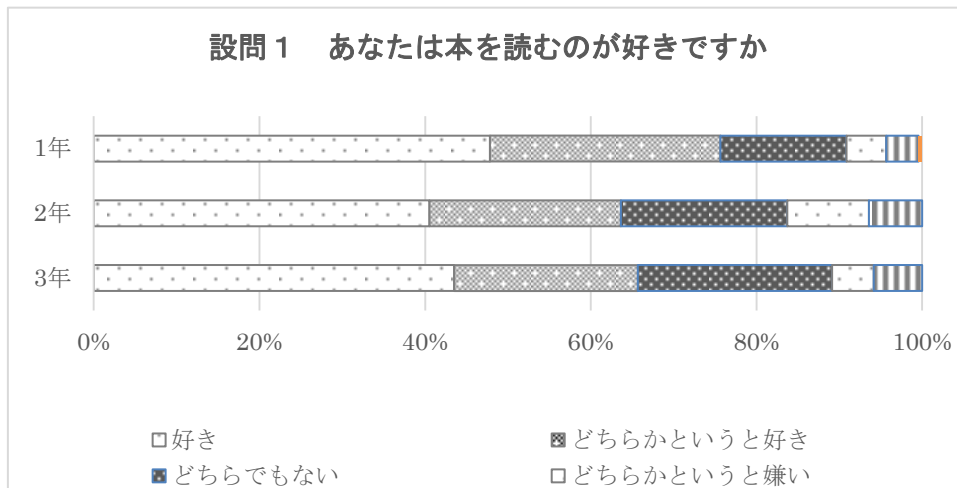
### 3. 中学生の読書環境

生徒本人（第四中学校・第五中学校）に対するアンケートと、学校、児童館で生徒に接している大人（学校司書、司書教諭、児童館）に対するアンケートを行いました。

#### 中学生の読書活動に関する調査結果

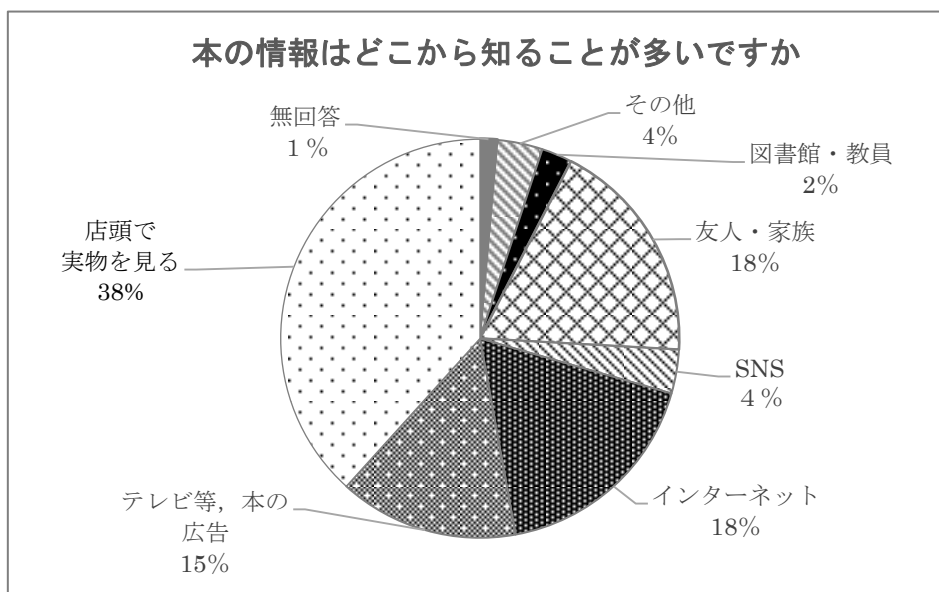
読書の好き嫌い（設問 1）については、①「好き」②「どちらかという好き」を合わせた回答数が、1 年生で全体の 75%、2 年生で 63%、3 年生で 65%でした。約 7 割の生徒が「読書が好き」と答えています。また、全学年中の約 6 割が直近 1 か月の間に自分で選んで本を借りたり、買ったりしています。

読んだ本の内容は、①小説・物語が 57%、続いて⑧雑誌、⑥実用と続きます。⑨その他 の回答内容からも、生徒一人ひとりの好みが確立してきているのがわかります。



直近1か月の間に自分で選んで本を借りたり買ったりしていない、という回答は、全学年中約4割でした。その理由については、「忙しく時間がない」「読書に興味がない」「他にやりたいことがある」が約2割ありほぼ同率の回答でしたが、この1か月間「新しく選んではいないが、継続して読んでいる本はある」「今は読みたい本がないから」という意見もありました。

本の情報源（設問5）については、①「店頭で実物を見る」が最も多く全体の38%でした。続いて、③「インターネット」④「SNS」と自主的にインターネット検索をして得ているものが合わせて22%、②「テレビ等、本の広告」を目にすることで得るのが15%となっています。⑤「友人・家族」は18%、⑥の「図書館や教員に聞く」が2%で、家族や友人、教員等周囲の人から本の情報を得ているのが合計20%となります。

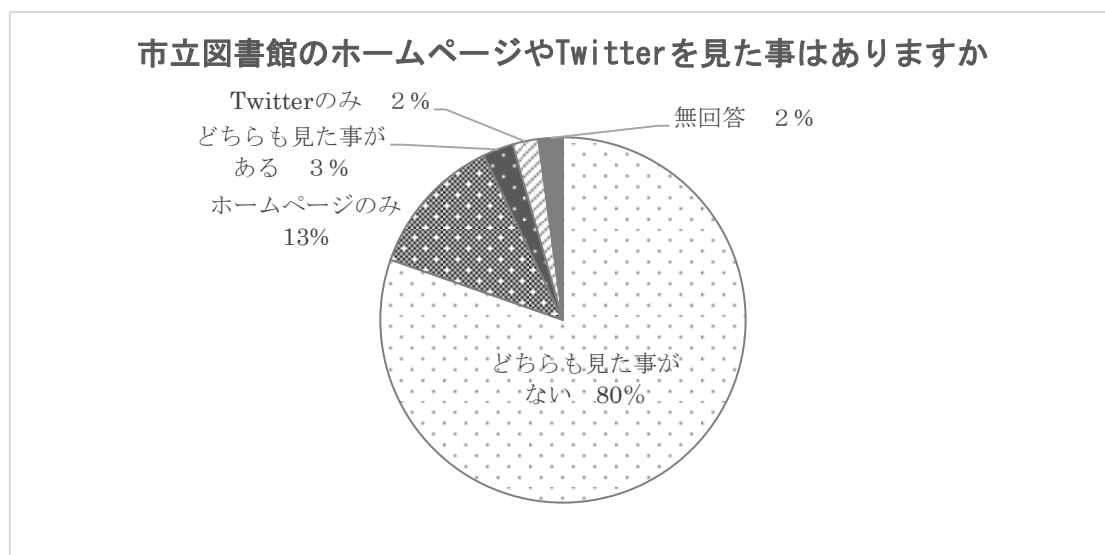


学校図書館の利用の有無と頻度（設問6）については、学校図書館の利用は、1・2年生では「利用している」が「利用していない」を若干上回っていますが、3年生では逆転し、「利用している」が「利用していない」の約3分の1にとどまっています。頻度についても、「利用している」と回答したうち、週に2回以上利用する生徒は、3年生の中の10%です。

市立図書館の利用の有無と頻度（設問7・8）については、全学年で「利用している」が全体の26～37%と、学校図書館の利用状況と比較して低い傾向にあります。

ホームページ等の図書館の発信するインターネット情報（設問10）については、図書館ホームページを閲覧したことがある生徒は全体の約20%でした。ツイッターについては、見たことがあるのは2%でした。

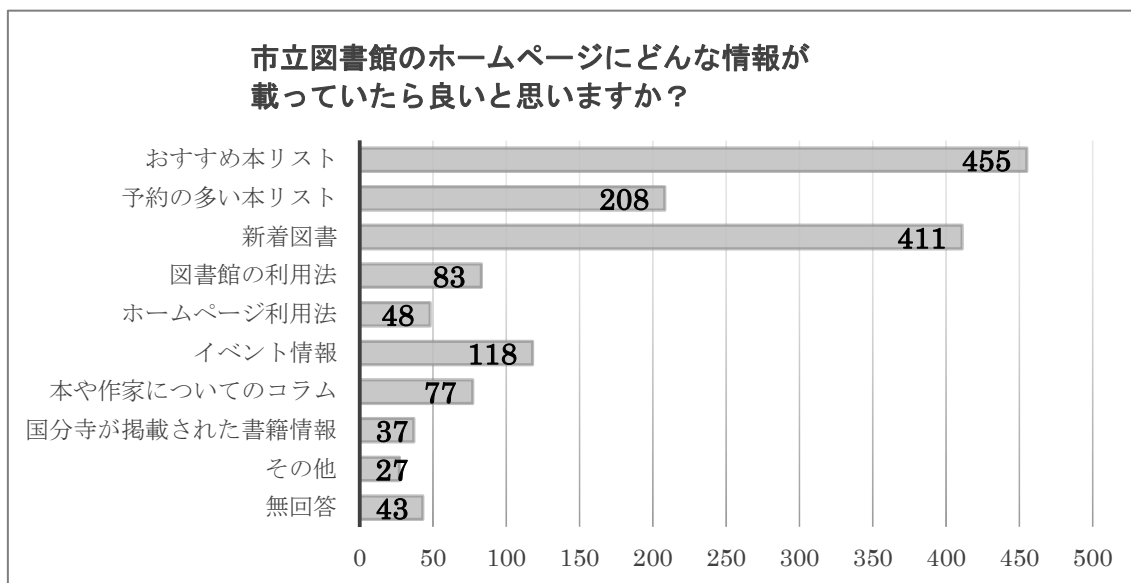
今後、中学生を含むYA世代がアクセスしたくなるようなホームページの作成とPRが重要なことがわかります。



市立図書館のホームページに掲載を望む情報（設問11）では、「おすすめ本リスト」と回答した生徒が全体の30%でした。読みたい本が決まっていないときや、新しい本・人気の本を知りたいときなどに、ホームページ上で気軽に見られるおすすめ本リストが必要とされていることがわかりました。

「その他」の選択肢の記述欄では、「試し読み・見出しやあらすじ紹介など本の中身がわかるもの」「アクセスマップ・図書館のフロア案内、図書館の仕事紹介など」等、多岐にわたった意見がありました。





市立図書館への要望（設問 12）については、多くは「無回答」，「特になし」でしたが，具体的な要望としては，マンガ，ノベライズ本，ライトノベル等好みの分野の購入，英語の読み物など資料の充実，自習用の机の設置，雑誌の種類の実等々の要望がありました。

#### 中学生の読書活動に関する調査結果（学校司書，司書教諭）

中学校の学校司書，司書教諭を対象にしたアンケート調査では，校内での生徒の読書の状況，学校・公共図書館共通システムの利用状況，調べ学習の資料を運搬しているコンテナ便等について調査しました。

司書教諭への設問で，生徒が校内で読書する時間がどのくらいありますか。（設問 4）から，市内の中学校全校で，授業前の「朝の読書」の時間を実施していることがわかりました。その他，読書週間等を行い，全校で生徒が本に親しむ機会を設けています。また，学校の読書への取組（例：読書紹介文，感想画などの展示）について（設問 6）は，取組の内容として，「読書紹介文作成・展示」が 3 校，「読書紹介文コンクール」「読書感想画作成・展示」「読書感想画コンクール」が各 1 校という回答でした。

学校図書館における，図書委員会の活動（設問 7）については，貸出・返却等の基本的な活動をはじめ，書架整理や館内の飾り付け，委員会活動記録・広報等，多岐にわたる回答がありました。

学校司書への設問で，学校・公共図書館共通システムを利用していると回答した学校は，5 校中 2 校でした（設問 4）。小学校に比べて，FAX，電話，メール等の利用や図

書館への来館が多い傾向があります。新システムの利便性を尋ねる設問では、「使いやすくなった」が2校、「使いづらくなった」「変わらない」が合わせて2校という結果でした。

調べ学習の資料を運搬するコンテナ便については、月に1、2回程度の利用という学校が5校中2校でしたが、毎回（毎週）利用しているところも1校あり、学校や時期によって依頼の件数や冊数に開きがあります。容量に不足を感じている学校もありました。

市立図書館に対する要望（自由記述部分）としては、YA世代に人気の本や、図書館のおすすめの情報、調べ学習用の本の情報交換を続けていきたいという声がありました。また、同じテーマの授業が行われている間、資料を生徒の手元に置いておけるよう、より長期の貸出期間を希望する意見もありました。

### 児童館における中学生の読書活動に関する調査結果

児童館を対象にしたアンケートでは、中高生向けの図書の所蔵状況、中高生の読書の状況と読書スペースについて調査しました。

館内の中高生向けの図書（設問9）については、6館中2館で所蔵冊数が増えていますが、一方で本の冊数は増えたが分野が増えていないという回答もありました。

アンケートによると、6割以上の児童館で中高生が本（コミック本を含む）を読んでいます。読書スペースについては、館によって場所や広さに差はありますが、中高生専用のスペースがある館もあります。それ以外の館でも図書室、図書コーナーその他、空いている場所で中高生が自由に本を読めるようになっていることがわかりました。

#### 4. 読書や図書館利用に配慮が必要な子どもたちの読書環境

読書や図書館利用に配慮が必要な子どもたちの現状を把握するために、第二小学校・第四小学校・第七小学校・第二中学校の特別支援学級に、学校内での生徒の読書環境について聴き取り調査を行いました。

##### 小学校の特別支援学級 聴き取り調査

学校図書館は、児童にとって最も身近な読書環境です。特別支援学級の児童も、昼休み等の開館時間に図書館で閲覧や図書の貸出を受けています。

調べ学習で使用する資料は、担当教員が日常的に学校司書に相談して揃えています。

教室内の学級文庫には、読み聞かせ用の大型絵本を含め、絵本を中心に図鑑・迷路の本など写真や絵を楽しめる本が揃っています。学期や学年が進むにつれ、徐々に児童が読み聞かせに慣れてきて、耳で聴くおはなしから具体的に場面を想像して読書を楽しんでいます。

##### 中学校の特別支援学級 聴き取り調査

中学校の特別支援学級の生徒も、小学校と同様、昼休み等の開館時間には学校図書館を利用しています。小学生よりも更に本の好みが明確になってきており、気に入った本（鉄道・地図等視覚的なもの）を繰り返し読む生徒も多いようです。学校図書館には本が多すぎて、読みたい本をスムーズに選べない生徒も見受けられるようです。

調べ学習で使用する資料は、小学校と同様に、特別支援教育支援員が日常的に学校司書に相談して揃えています。

教室内の学級文庫には、児童文学・ライトノベル・実用書・絵本など多ジャンルの本がありましたが、本の入替えが進んでいないことが課題です。

聴き取り調査以外に、小学校・中学校それぞれの学校司書・司書教諭へのアンケートの中で、児童・生徒の発達の遅れに配慮した読書支援についての項を設けました。

回答によると、紙芝居やパネルシアター等の視覚的に楽しめるツールや、ひとり読みを助けるリーディングトラッカー(\*)等の道具を適宜使用している学校が複数ありました。学校図書館において、読書をする際の不便や困難をできるだけ解消できるように配慮がなされていることがわかりました。

## IV 本計画の重点的な取組

### 1 乳幼児を対象とした取組

誕生してから2，3歳までの子どもは，周りの大人による語りかけや，わらべうたなどの言葉の響きやリズムに反応し，まねることにより自発的に言葉を発声するようになります。3歳過ぎから就学前までの子どもは，大人からの読み聞かせによって絵と言葉を楽しみ，文字を覚えて，徐々にひとり読みができるようになっていきます。

市立図書館では，この年代の子どもたちのために，赤ちゃん絵本コーナーを設けています。常に良い状態で子どもたちに絵本を届けられるように，新しい本の購入とともに，定評のある絵本の買い替えを行っています。

また，各図書館で「小さい子のためのおはなし会」を行い，わらべうたや手遊び，読み聞かせ等を行っています。

また，成長段階に応じて保護者が絵本を選べるように，館内で0～3歳向けのリスト「ひよこえほん」，4～6歳向けのリスト「おはなしのぼうけん」を継続して配布しています。図書館の利用を促す目的で，3～4箇月児健康診査においても「ひよこえほん」リスト，「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」を配布しています。今後も，必要とする子どもや保護者，関係機関への配布方法を工夫していきます。

定期開催している「読み聞かせ講習会」は，小学生向けの読み聞かせについての講習会ですが，乳幼児に対する家庭での読み聞かせを学べる場の要望が高まっています。

保育園・幼稚園では，保育時間中に読み聞かせや手遊びなどを行っています。児童館・子ども家庭支援センターでは，職員によるもののほか，市民団体との協働で，読み聞かせや手遊びなど読書のきっかけ作りとなるような活動を行っています。

各施設に配架してある図書については，各施設が独自の方法で選定・購入を行っています。選定方法や本の情報など，市立図書館が情報発信を行い，子どもたちと保護者のために良質な本が身近にある環境を作っていくことが必要です。

また，大型絵本や大型紙芝居等は，市立図書館が積極的に収集し，活用されるよう，団体貸出の利用促進を図ります。

## 【重点的な取組】

- (1) 乳幼児が本に親しむための蔵書の充実や行事の開催  
(事業) 「小さい子のためのおはなし会」の実施
- (2) 関係機関及び団体と連携した保護者への読書啓発  
(事業) 乳幼児向け絵本のおすすめリーフレットの作成・配布
- (3) 保育園・幼稚園・児童館における図書を選定向けリスト  
(事業) 保育士・児童館職員向け 児童書新刊案内リーフレットの作成・配布
- (4) 未就学児に対する家庭での読み聞かせに向けた講座の開催  
(事業) 家庭での読み聞かせを想定した講座の開催
- (5) 集団への読み聞かせに適した大型絵本等の収集と充実  
(事業) 大型絵本・紙芝居の収集と利用案内，リストの作成・配布
- (6) 図書館ホームページを活用した保護者への情報発信  
(事業) 乳幼児の保護者向けコンテンツの作成・公開



「おはなしのぼうけん」4～6さいのブックリスト

## 2 小学生を対象とした取組

小学生になると、家庭の外へも生活環境が広がります。学校生活の中で周囲との関わりを通して、社会性を身につけていきます。学習が進むにつれ読解力が高まり、自分で読書を楽しむようになります。物語の世界を味わうだけでなく、知識を得るための読書をするようになります。

小学生に実施したアンケート調査では、学校図書館と学級文庫を約9割の児童が利用しており、「学校以外の図書館に行ったことがある」という児童も9割を超え、「朝の読書」や校内での読書啓発活動も盛んに行われています。

市立図書館では、校内での読書活動と授業の支援を行うために、学校司書・教員との連携をより緊密にしていきます。

調べ学習においても円滑な資料提供を行えるように、市立図書館では授業テーマに配慮した資料選定を心掛けていきます。資料が少ない児童用の地域資料については、活用できるツールを作成すると同時に、図書館ホームページ上でも閲覧できる環境を整備していきます。

低学年向けの出前事業では、地域・家庭文庫やおはなしグループとの協働も含め、児童に市立図書館や読書が身近な存在であることをPRしていきます。

### 【重点的な取組】

- (1) 児童が学級で読書を楽しむための図書の提供  
(事業) 学級文庫貸出用図書セットの充実
- (2) 学習指導要領の改定による英語教育の拡大に対応した学校への支援  
(事業) 外国語図書の充実
- (3) 児童向け地域資料の充実と地域資料を活用するためのリストの更新  
(事業) 「国分寺を知るための子どもの本(小学生向け)」の改訂・配布
- (4) 図書館ホームページを活用した児童やその保護者への情報発信  
(事業) 小学生とその保護者向けコンテンツの作成・公開

### 3 中高生・YA（ヤングアダルト）世代を対象とした取組

中学生になると友人関係や、興味を寄せる事柄が多種多様に広がっていきます。また、自己を確立し将来の姿を模索し始め、より具体的な情報を得ようとしています。

読書がこうしたことの解決の選択肢の一つとなるように、YAコーナーを充実させ、中高生・YA世代が興味を抱くような読書環境を整えることが必要です。

既存の図書館のスペースの中で、居場所としてのスペース確保には工夫が必要です。YAコーナーを身近な場所として活用してもらえよう、図書館ホームページにおいてYA世代向けコンテンツの充実を図ると同時に、公衆無線LAN等の整備にも取り組みます。

アンケート結果によると、図書館ホームページについては、現在あまり活用されていません。YA世代の求めるコンテンツを研究し、魅力的なホームページを作成して、読書啓発を行っていくことが課題です。YA世代の調べ物に役立つようなインデックスページや、同世代からのおすすめ本、読書感想文を掲載するような参加型コンテンツを計画していきます。また、ホームページと連動して、既存の地域資料リストの更新も行っていきます。

各中学校とも図書委員会の活動が活発です。市立図書館との連携が進んでいる学校もありますが、さらに全校において連携を深め、校内での読書活動の推進に当たります。

#### 【重点的な取組】

##### (1) YA資料の充実

(事業) 各館におけるYA向け資料の充実

##### (2) 図書館ホームページを活用したYA世代への情報発信

(事業) YA世代向けコンテンツの作成・公開

##### (3) 生徒向け地域資料の充実と、地域資料を活用するためのリストの更新

(事業) 「国分寺を知るための子どもの本(中学生向け)」の改訂・配布

##### (4) 国際理解及び外国語学習に対応した学校支援

(事業) YA世代向けの外国語図書(読み物)の充実

#### 4 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもたちへの取組

市立図書館では、主に目の不自由な方に向けて、資料の収集、郵送貸出、対面朗読等を行っています。

子ども向けに収集しているDAISYやマルチメディアDAISY及び専用機器の貸出や利用方法については、保護者や教員をはじめとする周囲の大人たちへ向けての広報活動がこれまで不足していました。

読書活動や図書館の利用に配慮が必要な子どもたちの実態や、希望しているサービスを把握するためにアンケート調査を行うとともに、関連機関とも連携を取りながら、計画的な事業の展開を図っていきます。

配慮が必要な子どもたちに、本に親しんでもらう環境を整備していくために、学校や関係機関等との連携のほかに、配慮が必要な子どもを持つ保護者等との連携を深めていきます。そして、子どもたちの現状や課題について情報を共有しながら、支援方法について研究を進めていきます。

DAISYやマルチメディアDAISYについては、活字の本を読むことが難しい子どもたちに有効に使ってもらうことができる資料であるとの周知を図ります。その特徴や使用方法について、教員や保護者へも周知し、団体貸出が可能な「わいわい文庫」などの貸出方法の検討も行い、有効な活用を図ります。

さらに、一般的な活字本の利用が困難であるなどの理由で、これまで日常的に市立図書館を利用していない子どもたちが、市立図書館に行きたいと思えるような、興味や関心を持てる資料の収集、整備を行い、利用の促進を図ります。

また、一人では移動が困難な子どもや、高い書棚の本が取りにくい子どもに対して、サポート体制を取ることで、安心して市立図書館を利用できる環境を整えます。

##### 【重点的な取組】

- (1) DAISY・マルチメディアDAISY及び専用機器の貸出運用の整備  
(事業) 障害児用資料及び再生機器活用の拡充
- (2) 障害の状況等に合わせた図書を選定と提供  
(事業) 大活字本、点字絵本等資料の収集・整備  
(事業) 障害の状況等に合わせた図書セットの貸出
- (3) 周囲の大人に向けたDAISY等の利用案内作成  
(事業) 保護者及び学校向け利用案内の作成、DAISY等資料のPR
- (4) 一人では移動が困難な子どもたちの障害に合わせたサポート体制の整備



## 5 関係機関・団体との連携に関する取組

子ども読書活動推進計画を進めるに当たり、市立図書館と子どもの読書に関わる関係機関・団体との連携が今後ますます必要になります。

地域・家庭文庫、おはなしグループの市民団体は日常的に子どもたちに本や読書のすばらしさを伝えています。また、公民館事業や児童館行事にも参加することで、保護者に対しても家庭での読書活動の啓発を行っています。

地域・家庭文庫については、継続して運営していくメンバーの確保が課題となっています。市立図書館は、地域・家庭文庫等が行う講座への協力を継続して行い、地域における子どもの読書環境の維持・発展に取り組んでいきます。

平成 29 年 1 月に市内に移転・開館した都立多摩図書館は、児童・青少年資料サービスと雑誌サービスを中心に展開しています。東京都立多摩図書館の持つ高い専門性や豊富な蔵書を活用して、市立図書館及び学校図書館との連携について継続的な協議の場を設け、市内全体の子どもの読書環境を充実させていきます。

都立多摩図書館と市立図書館及び学校図書館とが、それぞれの担う役割や機能に基づいて連携することで、市内における子ども読書の総合的な環境の向上をめざします。

また、都立多摩図書館が市内にあるという利点を最大限に活かし、相互の理解をより一層深めるとともに、それぞれの力を結集していくことで、現在の子どもたち、さらには将来の子どもたちにとって図書館がかけがえのない知的財産の宝庫となるよう一層の充実を図っていきます。

### 【重点的な取組】

- (1) 地域・家庭文庫、おはなしグループ等の活動支援体制の整備
- (2) 地域・家庭文庫、おはなしグループ活動の広報の拡充  
(事業) 文庫等団体リスト作成及び学校その他関連部署への配布
- (3) 東京都立多摩図書館と市立図書館及び学校図書館間の連携の促進  
(事業) 連携のための継続的な協議の場の検討

## 6 図書館事業の広報・子ども読書活動普及の促進に関する取組

市立図書館事業の広報については、館内の掲示やチラシの配布以外に図書館ホームページ及びツイッターを活用しています。今後も体系的に発信し、行事の開催や報告などの広報の促進を図ります。

市立図書館では毎年、絵本作家・児童文学作家のほか、子どもの読書に関わる講師を招いて講演会を行っています。今後は開催告知だけでなく、終了後の内容報告を図書館ホームページ上で行い、記録を保存し、活用していくことで、参加できなかった市民とも情報を共有し、啓発を図ります。

ブックリストについては、これまでの第一次・第二次計画で各種作成しており、主に図書館来館者や関係機関、諸団体、学校へ配布してきました。関係部署への配布に加えて、市民団体・民間団体も含めた子どもに関わる場所へのリストの配布を進めます。行事のチラシに関しても同様に配布方法を工夫し、子ども自身と子どもを持つ家庭にとって、図書館と読書がより身近なものとなるよう活動していきます。

図書館の基幹業務である貸出、返却、レファレンス等個人利用に対するサービスに加えて、今後は子どもたちの自主性を高めるとともに、子どもたちが読書の楽しさを共有できるように利用者同士がつながり、より深く図書館や本の魅力を感じてもらえるように努めていきます。そのためにも、市立図書館の広報・普及担当が中心となって、子どもたちの活動の場の創出に努めます。

### 【重点的な取組】

- (1) 図書館ホームページにおける過去の行事のアーカイブ情報等の公開  
(事業) 行事案内ページに「アーカイブ」ページを作成
- (2) 図書館や本の魅力を伝える、児童・生徒参加型事業の実施  
(事業) YA世代が企画・立案に関わる事業の実施  
(事業) 図書館ボランティア等活動の支援

## 7 多言語・多文化対応への取組

平成 32 年度から、これまで小学校高学年が対象であった英語教育が中学年にも拡大します。市立図書館では、子どもたちが英語学習を契機にその他の言語にも興味を持てるように、外国語資料の収集と利用促進を図ります。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けて、多文化に関する学習が始まっており、「世界ともだちプロジェクト」が各小中学校で展開されています。オリンピック・パラリンピック関連の図書のほか、諸外国の文化や言語等国际理解に関する図書、日本の伝統文化に関する図書の拡充を図ります。

第二次計画で作成が完了した 3 か国語の利用案内の配布を継続して行うとともに、日本語以外を母国語とする子どもたちにとっても図書館が利用しやすいように、館内環境やホームページ等を整備していきます。

### 【重点的な取組】

- (1) 英語教育の拡大に対応した英語図書の整備及び拡充
- (2) 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」関連図書の収集
- (3) 国際理解を深めるための諸外国及び日本の文化に関する図書の充実
- (4) 多言語に対応した利用案内等の作成及び情報発信
- (5) 子ども読書を支援する大人へ向けた外国語図書の活用の啓発  
(事業) 児童・生徒の周囲の大人に向けた多言語対応講習会の企画・開催



「スポーツを楽しむ本」の展示

## V 計画の実現に向けて

本計画の推進には、市立図書館を中心に、家庭、学校、学校図書館、地域が一体となって取り組む必要があります。また、子どもの教育や育成に関わる市の関係部署・機関が連携・協力することが不可欠です。

市立図書館では、平成 27 年度から図書館業務一部委託を光図書館でスタートし、以後平成 30 年 4 月より恋ヶ窪図書館、並木図書館、もとまち図書館を加えた 4 館で、カウンター業務等の一部業務を委託して図書館運営を行っています。この体制の変化を踏まえ、効果的に計画を実施していきます。

本計画では、重点的な取組内容を示しています。計画に基づいた一つひとつの事業については、年度ごとに取組内容及び目標を設定し、それに基づいて 1 年間の事業を行います。

計画と現実はずれが生じないように、定期的に、計画の進行管理を行い、個別の取組については、進捗状況や成果を毎年度評価し、必要に応じて内容の見直しを行なった上、より良い取組にしていきます。

本計画の評価に当たっては、学識経験者と市民公募委員から構成される「国分寺市図書館運営協議会」(\*)において、計画の進捗状況の把握・評価を行うとともに、図書館利用者懇談会、学校と市立図書館との連絡協議会においても意見を伺う機会を設け、計画的・効果的に事業を推進していきます。

# 資料編

## 目次

1. 子どもの読書活動の推進に関する法律 . . . . . 1
2. アンケート調査結果 . . . . . 4
3. 用語解説 . . . . . 49

## 1. 子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

第百五十三回臨時国会

第一次小泉内閣

子どもの読書活動の推進に関する法律をここに公布する。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に

積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努め



なければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

## 2. アンケート調査結果

### 第三次子ども読書活動推進計画 アンケート依頼先

アンケート実施期間 平成 29 年 5 月～6 月

小学校（児童） 2	にしこくワンダーランド	第三泉町
第三小学校	富士本	日吉町
第十小学校	ともだちの森	第一新町
中学校（生徒） 2	くるみの木	第二新町
第四中学校	えがおの森	本多
第五中学校	こもれびの森	西町
学校司書	ひよし	西恋ヶ窪
小学校 10	ひだまりの森	戸倉
中学校 5	キャリー国分寺	学童保育所（私立） 1
司書教諭	まなびの森	かがやき
小学校 10	認証保育所 4	幼稚園（私立） 4
中学校 5	国分寺プチ・クレイシュ	国分寺けやき
保育園（公立） 6	西国分寺プチ・クレイシュ	坂の上
こくぶんじ	アスク西国分寺保育園	白鳥
もとまち	萌ベビーホーム	みふじ
しんまち	児童館 6	家庭文庫・地域文庫 3
ほんだ	本多児童館	なかよし文庫
恋ヶ窪	いずみ児童館	はらっぱ文庫
ひかり	にしまち児童館	東元町文庫
保育園（私立） 21	ひかり児童館	おはなしグループ 8
浴光	しんまち児童館	絵本お楽しみ会
やなぎ	もとまち児童館	おはなしトレイン
千春第二	学童保育所（公立） 16	おはなしの会「とんことり」
国分寺 J キッズステーション	第一東元町	おはなしのくにピッピ
西国分寺	第二東元町	おはなしの会
ぶんじっこ	第一光町	「でんでんだいこ」
ぶんじっこ分園	第二光町	おはなしポケット
アスクこくぶんじ南町	第一東恋ヶ窪	PTA サークル五小おはなし会
ポッポのはな	第二東恋ヶ窪	プレイセンター小さな森 I・II
ポッポのもり保育園	第一泉町	
ピコ国分寺	第二泉町	
		計 69 か所, 4 校, 30 名

保育園における読書活動等に関するアンケート

調査対象

私立保育園 計 12/25 園 回答  
 公立保育園 計 5/6 園 回答  
 合計 17 園

下記設問 1～12 につき該当するものに○を、または ( ) 内へのご記入をお願いいたします。なお数値につきましては、平成 28 年度末時点、または、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 園児向け図書／紙芝居の所蔵数についておたずねします。

① 所蔵している図書の数 約 ( ) 冊

所蔵冊数	100 冊以内	～500 冊	～1,000 冊	～2000 冊	2000 冊以上
(単位は園)	2	8	5	2	0

② 所蔵している紙芝居の数 約 ( ) 点

所蔵冊数	50 冊以内	～100 冊	～200 冊	～500 冊	500 冊以上
(単位は園)	3	3	4	6	1

設問 2. 園児向け図書／紙芝居の 1 年間の購入数についておたずねします。

① 1 年間に購入する図書の数 約 ( ) 冊

購入冊数	100 冊以内	～500 冊	～1,000 冊	～2000 冊	2000 冊以上
(単位は園)	16	1	0	0	0

② 1 年間に購入する紙芝居の数 約 ( ) 点

所蔵冊数	50 冊以内	～100 冊	～200 冊	～500 冊	500 冊以上
(単位は園)	14	0	0	0	0

※無回答/2 その他/1 特に冊数は決まっていない。新作の紹介があった時や古くなった時に購入する

設問 3. 図書／紙芝居の選定についておたずねします。

① 購入する図書や紙芝居の選定は、どのように行っていますか。(複数回答可)

- ア. 書店に行く
- イ. 出版社のパンフレットを見る
- ウ. 保育関連誌を見る
- エ. 図書館発行のブックリストを見る
- オ. 図書館に行き、直接図書や紙芝居を見る (借りる)
- カ. インターネットから情報を得る
- キ. その他

	書店に行く	出版社パンフレット	保育関連誌	図書館発行のブックリスト	図書館	インターネット	その他
(単位は園)	10	11	12	1	5	7	2

※その他/2 ・研修に参加して情報を得る ・業者が定期的に来園する

②選定で困っていることなどがありましたら、ご記入ください。

17園とも記入なし

設問4. 保育士による読み聞かせは、いつ行っていますか。(複数回答可)

- ア. 早朝保育 イ. お昼寝前 ウ. おやつ前後 エ. 食事前  
オ. 日常活動の合間に カ. お帰りの時間 キ. 延長保育の時間  
ク. その他

	早朝保育時	お昼寝前	おやつ前後	食事前	日常活動の合間	お帰りの時間	延長保育時	その他
(単位は園)	9	13	8	12	15	8	10	3

※その他/3 ・年齢やタイミングにより異なる ・保育中、個別に行う  
・必ず決まって行う訳ではないがだいたい上記の選択肢のような場合に行う

設問5. 保育士が、読み聞かせ以外にパネルシアターや以下のようなものを行いますか。

①行っているものに○をお願いします。(複数回答可)

- ア. パネルシアター イ. エプロンシアター ウ. ペープサート エ. 紙芝居 オ. 素話(ストーリーテリング) (\*) カ. 手遊び・わらべうた キ. その他 ク. 行っていない

	パネルシアター	ペープサート	エプロンシアター	紙芝居	素話(ストーリーテリング)	手遊び・わらべうた	その他	行っていない
(単位は園)	12	12	12	14	2	13	0	0

※無回答/2

②上記を行う場合、どのような時に行っていますか。(複数回答可)

- ア. 日常活動の合間に イ. 行事・イベントの時 ウ. その他

	日常活動の合間	行事・イベント	その他
(単位は園)	13	13	1

※無回答/2 その他/1 地域の方を招いた交流の時

設問6.

①保育士以外の方が読み聞かせを行うことがありますか。(複数回答可)

- ア. 市内のおはなしグループ イ. 市内の地域・家庭文庫

- ウ. 個人で活動を行っている市民 エ. 小学生 オ. 中学生 カ. 高校生 キ. 保護者  
ク. その他 ( )  
ケ. 行っていない

	おはなしグループ	地域・家庭文庫	市民(個人)	小学生	中学生	高校生	保護者	その他	行っていない
(単位は園)	0	1	0	0	2	2	2	6	4

※その他/6 ・栄養士 ・看護師 ・中高生 ・実習生 ・読み聞かせの講師 ・ボランティア

②上記を行う場合、どのような時に行っていますか。(複数回答可)

- ア. 行事・イベントの時 イ. 職場体験の時 ウ. 曜日を決めてなど定期的に  
エ. その他

	行事・イベントの時	職場体験の時	曜日を決めてなど定期的に	その他
(単位は園)	2	4	2	4

※その他/4 ・日常保育の合間 ・食育の一環として

設問7. 保護者への絵本の紹介は、どのように行っていますか。(複数回答可)

- ア. 園だよりに載せる イ. クラスのお便りに載せる  
ウ. 子どもの連絡帳・育児記録  
エ. 今日読んだ本の現物を保護者に見せる  
オ. 保育士と保護者の会話中に口頭で伝える カ. 保護者懇談会で伝える  
キ. その他  
ク. 行っていない

	園だより	クラスだより	連絡帳・育児記録	現物	保護者に口頭で	懇談会	その他	行っていない
(単位は園)	3	6	5	7	7	4	2	0

※その他/2 ・月刊誌・購読チラシの配布

・送迎時に保護者が園内ホール(図書館)の本を読み聞かせている

設問8. 子どもの読書に向けての啓発活動を、保護者向けに行っていますか。

(複数回答可)

- ア. 外部からの講師を招き講演会・講座を行っている  
イ. 保育士を講師として講演会・講座を行っている  
ウ. その他 ( ) エ. 行っていない

	外部講師の講演会・講座等	保育士が講師をする講演会等	その他	行っていない
(単位は園)	2	0	2	8

※無回答/4 その他/2 ・講演会の企画 ・懇談会 ・地域支援活動としての講座

設問9. 他保育園や他機関と、読書に関する情報交換や共同事業などを行っていますか。(複数回答可)

- ア. 市内の保育園 イ. 市外の保育園 ウ. 運営会社のグループ内の保育園 エ. 児童館

オ. 小学校 カ. 中学校 キ. 高校 ク. 市内の地域・家庭文庫 ケ. 市役所関係各課  
 ( ) コ. その他 ( ) サ. 行っていない

	市内保育園	市外保育園	同グループの 保育園	児童館	小学校	中学校
(単位は園)	1	1	1	0	0	0
	高校	市内地域・家 庭文庫	市役所各課	その他	行っていない	
(単位は園)	0	0	3	1	12	

※その他/1 ・法人姉妹園

設問 10. 図書館を利用していますか。(複数回答可)

- ア. 団体貸出を受けている  
 イ. 園児と一緒に来館して本を読んだり、その場で読み聞かせなどを行っている  
 ウ. その他 エ. 利用していない

	団体貸出の利用	園児と来館	その他	利用していない
(単位は園)	5	7	2	7

※その他/2 ・以前は団体貸出を利用していたが今はしていない ・今年度利用予定

設問 11.

- ①図書館の団体貸出を知っていますか。また、利用したことがありますか。  
 ア. 利用している(利用したことがある) イ. 知っているが利用したことがない  
 ウ. 団体貸出を知らなかった

	利用経験あり	知っているが利用していない	知らなかった
(単位は園)	7	8	2

- ②「イ. 知っているが利用したことがない」または「ウ. 団体貸出を知らなかった」をお選びいただいた方  
 におたずねします。団体貸出を利用してみたいですか。

ア. 利用してみたい イ. 利用の予定はない

	利用してみたい	利用予定はない	無回答
(単位は園)	6	3	1

- ③「ア. 利用している(利用したことがある)」または「イ. 知っているが利用したことがない」をお選  
 びいただいた方におたずねします。団体貸出に関するご要望があればご記入ください。

15 園とも記入なし。

設問 12. 図書館へのご要望がありましたらご記入ください。

- ・大型絵本・大型紙芝居の所蔵を増やしてほしい・たくさん見たい。
- ・記入なし 15 園

幼稚園における読書活動等に関するアンケート

調査対象

私立幼稚園 計2/4園 回答

下記設問1～8につき該当するものに○を、または( )内へのご記入をお願いいたします。なお数値につきましては、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問1. 園児向け図書／紙芝居の所蔵数についておたずねします。

①所蔵している図書の数 約( )冊

所蔵冊数	100冊以内	～500冊	～1,000冊	～2000冊	2000冊以上
(単位は園)	0	0	0	1	1

②所蔵している紙芝居の数 約( )点

所蔵冊数	50冊以内	～100冊	～200冊	～500冊	500冊以上
(単位は園)	0	0	1	1	0

設問2. 図書／紙芝居の選定についておたずねします。

①購入する図書や紙芝居の選定は、どのように行っていますか。(複数回答可)

- ア. 書店に行く    イ. 出版社のパンフレットを見る    ウ. 幼稚園関連誌を見る  
 エ. 図書館発行のブックリストを見る  
 オ. 図書館に行き、直接図書や紙芝居を見る(借りる)  
 カ. インターネットから情報を得る    キ. その他

	書店に行く	出版社 パンフレット	幼稚園 関連誌	図書館発行の ブックリスト	図書館	インター ネット	その他
(単位は園)	2	1	0	0	1	0	0

②選定で困っていることなどがありましたら、ご記入ください。

特になし/1園    記入なし/1園

設問3. 幼稚園教諭による読み聞かせは、いつ行っていますか。

例) お帰りの前、雨の日

- ・保育時間内で、いつとは決めていない。帰る前に読むことは多い。
- ・教員の計画により、読む機会は変わる。
- ・食事の後、お帰りの前、預かり保育の時など

設問4. 幼稚園教諭が、読み聞かせ以外にパネルシアターや以下のようなものを行いますか。(複数回答可)

①行っているものに○をお願いします。(複数回答可)

- ア. パネルシアター イ. エプロンシアター ウ. ペープサート  
 エ. 素話（ストーリーテリング） オ. 手遊び・わらべうた  
 カ. その他 キ. 行っていない

	パネル シアター	エプロン シアター	ペープ サート	素話（ストーリ ーテリング）	手遊び・わ らべうた	その他	行って いない
（単位は 園）	1	1	1	0	2	0	0

②上記を行う場合、どのような時に行っていますか。

- ア. 日常活動の中で イ. 行事・イベントの時 ウ. その他

	日常活動の合間	行事・イベント	その他
（単位は園）	2	1	0

設問 5.

①幼稚園教諭以外の方が読み聞かせを行うことがありますか。（複数回答可）

- ア. 保護者 イ. 市内のおはなしグループ ウ. 市内の地域・家庭文庫  
 エ. 個人で活動を行っている市民 オ. 小学生 カ. 中学生 キ. 高校生  
 ク. その他 ケ. 行っていない

	保護者	市内おは なしグル ープ	地域・ 家庭文庫	市民 （個人）	小学生	中学生	高校生	その他	行って いない
（単位は園）	0	0	0	0	0	0	0	1	1

※その他/1 実習生

②上記を行う場合、どのような時に行っていますか。（複数回答可）

- ア. 行事・イベントの時 イ. 職場体験の時 ウ. 曜日を決めてなど定期的に  
 エ. その他

	行事・ イベント	職場体験	その他
（単位は園）	0	0	1

※その他/1 教育実習時

設問 6. 子どもの読書に向けての啓発活動を、保護者向けに行っていますか。（複数回答可）

- ア. 絵本の紹介 イ. 講演会 ウ. 講座 エ. その他 オ. 行っていない

	絵本の 紹介	講演会	講座	その他	行って いない
（単位は園）	0	0	0	0	2

設問 7. 他幼稚園と、読書に関する情報交換や共同事業などを行っていましたらご記入ください。

記入なし/2園

設問 8. 図書館へのご要望がありましたらご記入ください。

記入なし/2園



しょうがくせい ほん  
小学生のみなさんに本をよむことについてのアンケート

調査対象 国分寺市立第三小学校  
国分寺市立第十小学校

※じぶんにあてはまるところに、まるをつけたり、すうじをいれてください。

1. あなたはなん年生ですか？

・ 1ねんせい ・ 2年生 ・ 3年生 ・ 4年生 ・ 5年生 ・ 6年生

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
アンケート 実施人数	三小	135	98	140	139	135	130	907
	十小	63	68	57	77	56	66	453
学年合計		<b>198</b>	<b>166</b>	<b>197</b>	<b>216</b>	<b>191</b>	<b>196</b>	<b>1360</b>
アンケート 回答数	三小	130	96	137	137	134	126	760
	十小	53	62	56	72	44	66	353
回答数合計		<b>183</b>	<b>158</b>	<b>193</b>	<b>209</b>	<b>178</b>	<b>192</b>	<b>1113</b>
アンケート 回答率		<b>92%</b>	<b>95%</b>	<b>98%</b>	<b>97%</b>	<b>93%</b>	<b>98%</b>	<b>82%</b>

2. あなたは本をよむことが好きですか？

① すき ②どちらかというとき好き ③どちらでもない ④どちらかというとき嫌い ⑤嫌い

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①すき	149	117	135	131	113	106	751
②どちらかというとき好き	20	20	43	50	38	41	212
③どちらでもない	10	15	12	20	17	29	103
④どちらかというとき嫌い	1	1	0	6	6	8	22
⑤嫌い	2	4	2	1	3	7	19
⑥無回答	1	1	1	1	3	4	11

3. 一週間でなん回くらい、学校のとしょかんに行って本をよんだり、かりたりしますか？

(じゅぎょうのじかんは数えません。)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①週4回以下	169	138	171	186	158	173	995
②週5回以上	6	8	7	13	13	11	58
③週10回以上	1	10	9	4	7	8	39
④無回答	7	2	6	6	0	3	24

4. クラスにおいてある、がっきゅうぶんこの本をよんだことはありますか？

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①ある	160	137	168	194	164	175	998
②ない	11	8	17	10	12	16	74
③無回答	12	13	8	5	2	4	44

5. 学校いがいのとしょかんに行ったことがありますか？（じゅぎょうのけんがくは、数えません。）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①ある	159	137	180	199	171	182	1,028
②ない	21	8	12	10	7	10	68
③無回答	2	13	1	0	0	3	19

6. 学校いがいのとしょかんに行ったことのない人はりゆうをおしえてください。

（あてはまるものに全部まるをつけてください）

- ①家からとしょかんがとおいから ②一人で行けないから ③としょかんがどこか知らないから  
 ④ほかに楽しいことがあるから ⑤ほかのことでいそがしいから ⑥本をかりないから ⑦その他

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①家から図書館が遠いから	8	4	2	2	2	4	22
②一人で行けないから	7	1	3	3	1	0	15
③図書館がどこか知らないから	6	3	3	1	2	2	17
④他に楽しいことがあるから	4	0	3	5	0	6	18
⑤他のことで忙しいから	2	1	5	1	2	2	13
⑥本を借りないから	1	0	2	1	2	4	10
⑦その他	4	1	1	1	0	1	8
⑧無回答	1	0	0	0	1	1	3

※その他／8

引っ越してきたばかりだから／2 学校の本を読み切れないから・家に本があるから／2  
 妹が小さくてすぐ騒ぐから／1 本が嫌い・興味がない／3

7. 学校いがいのとしょかんに行ったことのある人はとしょかんで何をしましたか？  
 （あてはまるものに全部まるをつけてください）

- ①本をかりた ②ざっしをかりた ③CDをかりた  
 ④としょかんの中で本やざっしをよんだ  
 ⑤としょかんの中でしらべものやべんきょうをした  
 ⑥インターネットをつかった ⑦CDやレコードをきいた（ほんだ・なみきとしょかんにあります）  
 ⑧としょかんのえいがかいなどイベントに行った ⑨その他

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①本を借りた	137	141	162	191	164	163	958
②雑誌を借りた	8	11	10	7	11	15	62
③CDを借りた	12	14	12	10	5	18	71
④図書館の中で本などを読んだ	72	81	97	83	97	113	543
⑤図書館の中で調べ物や勉強をした	7	42	48	54	68	69	288
⑥インターネットを使った	4	21	29	20	24	23	121
⑦CDやレコードを聞いた	4	6	4	1	2	3	20
⑧図書館の映画会などのイベント	21	29	21	28	18	23	140
その他	5	9	6	4	4	8	36
無回答	1	0	1	0	0	0	2

※その他／36

- ⑤「図書館の中で調べ物や勉強をした」と思われるもの／8  
 ・図書館で調べた ・宿題をした ・本のページを写して帰った ・勉強した 等
- ④「図書館の中で本などを読んだ」と思われるもの／7  
 ・めいろまちがいさがし・赤ちゃんに読み聞かせをした ・色々な本を読んだ  
 ・お祭りのついでに寄って本を読んだ等
- ①「本を借りた」と思われるもの／5  
 ・勉強の本を借りた1 ・本を買った4  
 立ち寄った・何もしなかった／8  
 ・図書館が近い1 ・いた2 ・クーラーがついてるから1 ・あまりなにもしていない1  
 ・涼みに行った2 ・付き添いで行った1
- 利用の準備／3  
 ・カードを作った1 ・本の場所を調べた2
- 返却のみ／3  
 ・学級文庫の返却を手伝った1 ・返却のみ2
- 詳細不明の回答／2  
 ・「こどもの本」1 ・「どの本がおすすめか」1

8. 上の7のしつもんで「本をかりた」人は、どんな本をえらんでかりましたか？

(あてはまるものに全部まるをつけてください)

- ① おはなし・ものがたりの本  
 ② しらべものやべんきょうのための本  
 ② ならいごとやクラブにかんけいのある本  
 ④ スポーツやりょうりのやりかたの本  
 ⑤ そのときおもしろそうだとおもった本  
 ⑥ あたらしい本のコーナーにあった本  
 ⑥ かぞくやともだちにすすめられた本  
 ⑧ その他

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①おはなし・物語	97	101	140	143	126	132	739
②調べ物・勉強	12	38	52	48	63	73	286
③習い事・クラブ	14	14	15	18	32	32	125
④スポーツや料理	9	24	40	42	48	45	208
⑤その時の興味	59	75	89	103	122	122	570
⑥新刊	16	27	39	43	37	29	191
⑦人に勧められた本	27	30	39	49	56	55	256
⑧その他	5	15	15	22	12	14	83
⑨無回答	0	8	5	1	1	5	20

※その他／83

- 1年生 具体的書名1 迷路・探し物絵本2 工作・折り紙1 図鑑1
- 2年生 具体的シリーズ名2 動物・虫の本3 怪談1 紙芝居1 昔話1 言葉遊びの本1  
 字が細かい本1 昔話1 ゲームの本1
- 3年生 具体的シリーズ名3 折り紙・工作・図工の本4 図鑑2 なぞなぞの本1 マジックの本2  
 鉄道関係の本1 心理テスト1 怪談2 ゲームの本1
- 4年生 具体的シリーズ名3 歴史(漫画含む)2 図鑑2 折り紙・切り紙の本2 怪談2  
 東京についての本1 伝記3 自由研究の本2 錯覚の本1 自然の本1
- 5年生 具体的シリーズ名1 夏休みの宿題・自由研究2 工作の本2 生き物(恐竜・昆虫など)の本3  
 図鑑3 迷路1 趣味の本1
- 6年生 歴史3 怪談1 伝記(内、スポーツ選手1)3 将来の夢についての本1 科学や生物の本1  
 好きな作家の本1 科学の本1 ものづくりの本1 SFや映画の本1 前読んで面白かった本1

9. こくぶんじしのとしょかんがどんなふうになったらいいとおもいますか？

- ①すきなしゅるいの本がふえるといい ②たのしそうなイベントがあるといい ③としょかんがあいているじかんが長くなるといい ④かりられる本のさつすうが多くなるといい ⑤もっと長いあいだ本をかりていられるといい ⑥じゆうにつかえるばしょがふえるといい ⑦もっとたくさんとしょかんができたらいいい  
 ⑧本をかえすポストをふやしてほしい  
 ⑨よやくやリクエストが今よりたくさんできるようになるといい ⑩その他

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
①好みの図書の増加	141	125	128	152	97	145	788
②イベント	65	69	72	61	41	58	366
③開館時間延長	57	75	72	56	36	46	342
④貸出冊数の増加	56	70	91	84	51	74	426
⑤貸出期間の延長	53	70	78	85	49	77	412
⑥フリースペース	57	55	62	59	28	45	306
⑦図書館の増設	46	66	70	56	37	66	341
⑧返却ポストの増設	36	46	35	32	19	26	194
⑨リクエスト受付数の増加	24	51	43	40	21	44	223
⑩その他	5	13	9	15	9	9	60
⑪無回答	4	0	2	5	6	4	21

※その他/60

- 1年生 ・夢の図書館ができたらいいい 1 迷路ができたらいいい 1  
 ・リクエストしてその本が図書館に来るといい 1  
 ・英語の本・絵本を増やしてほしい 2 ・図書館にある本の種類がもっと多くなるといい 2
- 2年生 ・楽しくなるといい 1 ・迷路や間違い探しの本が増える 1 ・皆が楽しく読める本 1  
 ・探しやすいなってほしい 1 ・細かい字の本が増えるといい 1 ・世界各国の本があるといい 1  
 ・きれいになったらいい 1 ・見てる本は多くなるといい 1 ・迷路があるといい 1  
 ・帰る時に本やおかしなどをもらえるといい 2 ・ゲームの雑誌があるといい 1
- 3年生 ・勉強の本を増やす。辞書などを置いてほしい 1 ・座る場所を増やしてほしい 1  
 ・椅子が増えるといい 1 ・広くて本がたくさん 1 ・少ない本を増やしてほしい 1  
 ・図書館が近くにあるといい 1 ・歴史の本を増やすといい 1  
 ・子どもも大人も楽しめる本があるといい 1
- 4年生 ・自分で本を作れる場所 1 ・国分寺オリジナルの本を作ってほしい 1  
 ・国分寺の本のグループを作ってほしい 1 ・科学の本・歴史の本を増やしてほしい 1  
 ・子供向けの本の部屋を作ってほしい 1 ・もうちょっと近いところに図書館を作ってほしい 1  
 ・配達で借りてもらう (他, 配達による貸出返却の要望) 3  
 ・学校にはない本が増えるといい 1 ・大きな図書館がほしい 1 ・漫画を置いてほしい 2  
 ・手芸の本を増やしてほしい 1 ・きれいになるといい 1 ・お取り寄せが少なくなるといい 1  
 ・文庫本を増やしてほしい 1 ・家の近くに図書館ができるといい 1
- 5年生 ・もっと広いといい 1 ・小説ばかりの図書館ができたらいいい 1 ・漫画を入れてほしい 1  
 ・検索のパソコンを増やしてほしい 1 ・新しい本が増えるといい 1 ・今のままで大丈夫 1  
 ・いろいろな種類の本があるといい 1 おしゃれな要素を入れてほしい 1  
 ・引っ越したばかりで行ったことがありません 1
- 6年生 ・広くなればいい 1 ・マンガを置いてほしい 1 ・お菓子を食べられる場所 1  
 ・図書館を増やし、本の種類も増えてほしい 1 ・学校の貸出が増えるといい 1  
 ・文字が少ない本が増えるといい 1 ・本を読むスペースが増えるといい 1  
 ・学級文庫で同じ種類の本を何冊も借りられるようにしたい 1

小学校における読書活動等に関するアンケート（学校司書の皆さまへ）

調査対象

市内小学校図書館司書 計 10/10 校 回答

下記設問 1～13 につき、該当するものにすべて○を、または、( ) 内へのご記入をお願いいたします。なお、数値につきましては、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 平成 28 年度の貴校図書館では夏季・冬季休み中の開館をしましたか。

- ア. はい イ. いいえ  
はい/7 いいえ/3

※「はい」のうち、夏季のみ 1 冬季のみ 1

設問 2. 貴校図書館の運営について仕事内容を教えてください。

- ア. 図書館の管理 イ. 書架整理（本棚の整理） ウ. 購入本の選定 エ. 購入本の発注 オ. 図書の分類・整理・登録・除籍本処理 カ. 図書の貸出返却 キ. リクエストの受付・連絡 ク. ティーム・ティーチング（教諭と協力して授業を行う）で図書指導 ケ. 図書指導担当による図書指導 コ. レファレンス業務（資料の検索・探し方のアドバイス） サ. 読み聞かせ シ. 読書案内 ス. 図書館だより発行 セ. 図書館内の掲示・季節や行事本の展示 ソ. 図書館利用ガイダンス タ. 市立図書館へ調べ学習用団体貸出の依頼 チ. その他

	図書館の管理	書架整理	本の選定	本の発注	図書の分類・整理・登録・除籍等	貸出・返却	リクエスト受付・連絡
(単位は校)	8	10	10	10	10	10	9

	ティーム・ティーチング	図書指導	レファレンス	読み聞かせ	読書案内	図書館だより発行	館内掲示・本の展示
(単位は校)	9	7	9	10	8	9	10

	図書館利用ガイダンス	市立図書館への調べ学習用団体貸出依頼	その他
(単位は校)	10	10	4

※その他/4

- ・学校図書館間相互貸借・教員向け図書館利用ガイダンス・学校図書館ボランティア対応（作業管理）
- ・年度末報告書作成・図書予算要望案の作成・学校図書館に関連する会議への出席・他校学校図書館との情報交換・ブックトーク・紙芝居・語り・おはなし給食の企画・実施・パスファインダー(\*)の作成
- ・読書週間イベント・読書ノート・読書リスト作成（年間・長期休暇用）・本の修理・図書委員会活動支援

設問 3. 授業科目の「図書の時間」に児童にどのような読書指導をしていますか。

(複数回答可)

- ア. 読み聞かせ イ. ブックトーク(\*) ウ. ストーリーテリング（語り）

エ. アニマシオン オ. その他

	読み聞かせ	ブックトーク	ストーリーテリング	アニマシオン	その他
(単位は校)	10	8	4	6	8

その他/8

- ・紙芝居 ・ポップ作り ・帯づくり ・調べ学習 ・ビブリオバトル(★)
- ・感想画作成 ・リテラチャーサークル(★) ・ペア読書 ・パネルシアター

設問 4. 児童は「図書の時間」以外に本にふれる時間がありますか。

ア. 授業前の朝の読書の時間を実施している イ. 昼休みの読書の時間を実施している ウ. 授業中に教師による読み聞かせを行っている エ. 市民ボランティアによる読み聞かせを行っている オ. 授業前の時間に保護者による読み聞かせを行っている カ. 読書週間・読書月間を設けている

	朝の読書	昼休みの読書	授業中	市民ボランティアによる読み聞かせ	保護者の読み聞かせ	読書週間・月間
(単位は校)	9	2	9	5	9	10

設問 5. 児童の発達の遅れに配慮した読書支援としてどのような活動を行っていますか。

ア. 児童の発達の遅れの状況や特性、生活経験等を考慮した適切な図書の選定を行っている イ. 読み聞かせ、紙芝居、ペープサート、パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図っている。 ウ. その他、児童の発達の遅れの状況や特性、生活経験等を考慮した読書活動の充実を図る実践をしている場合などは記入をお願いします。

	児童の状況・特性・経験等に配慮した選定	読み聞かせ・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図る	その他
(単位は校)	7	6	3

※無回答/2 その他/3

- ・リーディングトラッカー設置 ・リーディングルーペ(★)の用意, ・書架見出しにピクトグラム ・通級指導学級にてパネルシアターやミニクイズ等を行う ・マルチメディアデジター図書の受入とLLブック(★)の配置を予定
- ・支援学級の担任の先生・語学の先生との情報交換、資料提示 ・わいわい文庫のDAISY図書受入予定

設問 6.

①貴校図書館では、読み聞かせ活動以外のボランティアの受け入れを行っていますか。

- ア. 保護者をボランティアとして受け入れている  
 イ. 保護者以外の市民をボランティアとして受け入れている  
 ウ. その他 エ. 受け入れていない

	保護者をボランティア受入	保護者以外の市民をボランティア受入	その他	受け入れていない
(単位は校)	9	1	0	0

②受け入れている場合、どのような活動を行っていますか。

ア. 書架の整理 イ. 図書館資料の装備 ウ. 図書館の飾り付け エ. その他

	書架の整理	図書館資料の 装備	図書館の飾り付け	その他
(単位は校)	6	8	9	4

※その他/4

- ・蔵書点検の補助
- ・除籍資料のリサイクル活用に向けた処理
- ・読書記録ノートの作成
- ・本の修理
- ・子ども新聞の記事切り抜き作業

設問7. 学校図書館だよりや館内外掲示以外で、児童向けのおすすめ本リストを作成していますか。

ア. 作成している イ. 作成していない  
作成している/7 作成していない/3

「作成している」場合、リストの内容について

- ・読書旬間に配布するカードにおすすめ本リストを掲載
- ・100冊のおすすめ本リスト作成とともに本を展示コーナーへ展示
- ・読書ノート・読書ファイル・読書の記録にリストを掲載
- ・学年別おすすめ本リスト  
内容記入なし/2

設問8. 児童は、図書委員会ではどのような活動をしていますか。

ア. 図書の貸出・返却（昼休み・放課後） イ. 図書館内飾り付け ウ. 読書週間・読書旬間の運営（おすすめ本のPR, クイズ・ポスター掲示） エ. 書架整理（本棚の整理） オ. おすすめ本の紹介（ポスター作成等）  
カ. 委員会活動の記録・広報（児童集会で発表） キ. 図書館だより作成 ク. その他

	図書の 貸出・返却	館内飾り付け	読書週間・ 旬間の運営	書架 整理	おすすめ本 紹介	委員会活動 の記録・広報	図書館 だより 作成	そ の 他
(単位 は校)	10	3	10	9	7	10	0	4

※その他/4

- ・リサイクル図書のシール貼り
- ・低学年に代わっての蔵書検索
- ・本の予約者への記入アドバイス
- ・ミニビブリオバトルの司会進行
- ・月に一度中休みに読み聞かせ
- ・読書週間中の読み聞かせ放送
- ・集会の準備

設問9. 学校司書と教員が連携して行う読書推進の取組などがありましたら、簡単にご紹介ください。

- ・本のポップづくり
- ・帯づくり
- ・百科事典・図鑑・年鑑の使い方の説明
- ・検索の仕方の説明
- ・アニメーション
- ・ブックトーク
- ・ビブリオバトル
- ・おはなしコンチェルト
- ・パネルシアター
- ・リテラチャーサークル
- ・ペア読書
- ・おはなし給食
- ・「先生方のおすすめの本」展示・紹介
- ・子どもたちのおすすめ本の紹介（図書だよりへの掲載・学校図書館に展示）  
記入なし/3

設問10. 平成28年度に学校図書館システムやその他の方法で公共図書館から本をお借りになったかおたずねします。

ア. 学校図書館システムでの利用 イ. FAX・電話・メール等での利用 ウ. 図書館に来館して利用 エ. 他  
の方法での利用 オ. 借りていない

	学校システムの利用	FAX・電話・メールでの利用	図書館へ来館して利用	他の方法	借りていない
(単位は校)	9	10	9	0	0

設問 11. 公共図書館と学校図書館のコンピュータシステムの連携についておたずねします。

①平成 27 年度より新システムに移行いたしました。使用のご感想をお答えください。

ア. 以前より使いやすくなった イ. 以前より使いづらくなった ウ. 変わらない エ. 使用していないのでわからない

	以前より使いやすくなった	以前より使いづらくなった	変わらない	使用していない
(単位は校)	8	2	0	0

②システム連携を使用されている方におたずねします。どのような場合に使用しますか。

(複数回答可)

ア. 調べ学習の資料予約・取り寄せ イ. 読書指導のための資料予約・取り寄せ ウ. 調査のための検索  
エ. その他

	調べ学習の資料予約・取り寄せ	読書指導のための資料予約・取り寄せ	調査のための検索	その他
(単位は校)	9	2	0	0

③システム連携を使用されていない方におたずねします。公共図書館の資料を利用する場合はどの方法が便利ですか。(複数回答可)

ア. 電話・FAXでの問い合わせ イ. メールでの問い合わせ ウ. 図書館に来館して相談 エ. その他  
オ. 公共図書館資料は利用していない

	電話・FAX	メール	図書館に来館	その他	利用していない
(単位は校)	1	1	1	0	0

設問 12. 公共図書館と学校図書館間のコンテナ便運行についておたずねします。

「学校と市立図書館等連絡協議会」での希望を受け、平成 27 年度より運行しておりますが、使用状況についてお答えください。

①どのくらいの頻度でコンテナ便を使用しますか。

ア. 毎回 イ. 月に 1・2 回程度 ウ. 一学期に数回程度 エ. 「おはなしの出前」など行事の時のみ オ. まだ使用していない

	毎回	月に 1・2 回	一学期に数回	行事の時のみ	まだ使用していない
(単位は校)	3	6	1	0	0



②コンテナ便の容量や回数についてどうお考えですか。

ア. 容量・回数に不足はない    イ. 容量・回数共に不足を感じる    ウ. どちらかに不足を感じる    (どちらか記入してください)    エ. その他

	容量・回数に不足はない	容量・回数共に不足を感じる	どちらかに不足を感じる	その他
(単位は校)	4	3	3	0

※「どちらかに不足を感じる」の内訳  
 容量/1 回数/1 記入なし/1

③コンテナ便についてご意見があればお書きください。

- ・各学期末ギリギリまで授業が有るので、長期休業の第一週までをコンテナ便運行予定に入れてほしい
- ・公共図書館行きの資料はコンテナ内、学校間はコンテナのフタの上に乗せているが、あて名ラベルをしっかりと貼付して、すべてコンテナ内に入れたい
- ・現在は、学校間の物流が効率的に行えない。学校間の物流も視野に入れた契約を検討していただきたい。
- ・学校間の物流も公共図書館へのコンテナ便と同様に扱ってほしい
- ・コンテナ便のスケジュールは、年度始めに決まり次第、早急に学校司書にしらせてほしい
- ・トラブルもなくしっかり配達して下さっているので感謝している
- ・学校間の物流について、容量の設定を明確にしてほしい
- ・同時期に複数学年で調べ学習の資料を依頼すると、容量不足になり不便に思う時がある
- ・実際は、コンテナ便運行日以外に直接図書館へ本を取りに行ったり返却することもあるので、全て交換便で送れると有難いが、空になってしまう日も生じると思われるため運行案の検討が必要
- ・直前の資料予約・連絡だと図書館内での本の取り寄せがコンテナ便運行日に間に合わない事があり、学習に使うにはタイムラグが大きいと思う事がある。 記入なし/2

設問 13. 公共図書館との連携で要望することがありましたらご記入ください。

- ・市立図書館主催の児童向けのイベントのチラシを、学校内掲示用に1～2部ほしい
- ・今後も学校と公共図書館の連絡協議会の継続を望む
- ・今後もレファレンス等で市立図書館の職員に、力になってほしい
- ・学習の支援、とりわけ調べ学習で使用する本の購入をもっとお願いしたい
- ・授業でのニーズが高いため、複本を多く貸出してほしい
- ・記入なし/5

小学校における読書活動等に関するアンケート（司書教諭の皆さまへ）

調査対象

市内小学校図書指導担当教諭 計 10/10 校 回答

下記設問 1～13 につき、該当するものにすべて○を、または、（ ）内へのご記入をお願いいたします。  
なお、数値につきましては、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 平成 28 年度末現在の貴校図書館の蔵書冊数と新規購入冊数を教えてください。

蔵書冊数総計（ ）冊

所蔵冊数	8000 冊以内	～10000 冊	～12000 冊	～14000 冊	14000 冊以上
(単位は校)	0	2	3	3	2

新規購入総計（ ）冊

購入冊数	300 冊以内	～400 冊	～500 冊	～600 冊	600 冊以上
(単位は校)	0	2	3	3	1

※無回答/1

設問 2. 貴校図書館の運営について仕事内容を教えてください。

ア. 図書館の運営      イ. 図書館蔵書の把握      ウ. 年間指導計画・図書館予算執行計画作成      エ. 学年の発達段階に応じた図書整備・充実の計画実施      オ. 図書の整理・装備・修理      カ. 読書指導      キ. 読み聞かせ      ク. 図書館だより発行      ケ. 本の選定・購入      コ. 図書館飾り付け      サ. 夏休み推薦図書リスト作り      シ. 読書月間の取り組み      ス. 読書活動の計画と実践      セ. 図書委員会指導      ソ. 読書感想文の取り組み      タ. その他

	図書館の運営	図書館蔵書の把握	年間指導計画・予算執行計画作成	学年の発達段階に応じた図書整備・充実の計画実施	図書の分類・整理・装備・修理	読書指導
(単位は校)	8	8	9	5	4	7

	読み聞かせ	図書館だより発行	本の選定・購入	図書館飾り付け	夏休み推薦図書リスト作り	読書月間の取組
(単位は校)	6	4	8	4	1	9

	読書活動の計画と実践	図書委員会指導	読書感想文の取組	その他
(単位は校)	7	10	5	1

※「年間指導計画・予算執行計画作成」について 8 校中 1 校は「年間指導計画書のみ」と回答

「読書月間の取組」について 9 校中 1 校は「月間ではなく週間」と回答

その他/1      図書館の利活用指導

設問3. 授業科目の「図書の時間」に児童にどのような読書指導をしていますか。(複数回答可)

ア. 読み聞かせ      イ. ブックトーク      ウ. ストーリーテリング(語り)      エ. アニメーション      オ. その他

	読み聞かせ	ブックトーク	ストーリーテリング	アニメーション	その他
(単位は校)	8	4	2	5	6

※その他/6

- ・ビブリオバトル 3
- ・調べ学習 2
- ・本の帯づくり
- ・感想画
- ・感想文
- ・国語の伝統的な言語文化について

設問4. 児童は「図書の時間」以外に本にふれる時間がありますか。

- ア. 授業前の朝読書の時間を実施している
- イ. 昼休みの読書の時間を実施している
- ウ. 授業中に教師による読み聞かせを行っている
- エ. 市民ボランティアによる読み聞かせを行っている
- オ. 授業前の時間に保護者による読み聞かせを行っている
- カ. 読書週間・読書月間を設けている

	朝の読書の実施	昼休みの読書の実施	教師による読み聞かせ	市民ボランティアによる読み聞かせ	授業前の保護者による読み聞かせ	読書週間・月間を設けている
(単位は校)	10	0	6	6	10	10

設問5. 児童の発達の遅れに配慮した読書支援としてどのような活動を行っていますか。

- ア. 児童の発達の遅れの状況や特性, 生活経験等を考慮した適切な図書の選定を行っている
- イ. 読み聞かせ, 紙芝居, ペープサート, パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図っている。
- ウ. その他, 児童の発達の遅れの状況や特性, 生活経験等を考慮した読書活動の充実を図る実践をしている場合などは以下に記入をお願いします。

	児童の状況・特性・経験等に配慮した選定	読み聞かせ・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図る	その他
(単位は校)	7	8	1

その他/1

- ・国語の学習の中で視覚的に絵本や紙芝居を使って読書に親しむことができるような実践を行っている。
- ・学校行事の資料提供・調べ学習のサポートなど

設問6.

①貴校では, 読み聞かせ活動のボランティアの受け入れを行っていますか。

(例 おはなしグループ, PTAサークル等)

- ア. 受け入れている      イ. 受け入れていない
- 受け入れている/10      受け入れていない/0

②受け入れている場合, どのような活動を行っていますか。

- ア. 読み聞かせ      イ. ブックトーク      ウ. その他



- ・調べ方の進め方・参考資料の利用案内等，調べ学習のサポート 3・ビブリオバトル 4
- ・読書週間・読書旬間 3・図書委員会の活動 2・ポップ作り，本の帯づくりの指導 2・読書感想文の指導 1・アニメーション 1・ブックトーク 1・パネルシアター 1・おはなしコンチェルト 1・おはなし給食 1・本の人気投票 1・読み聞かせのサポート 1・インターネット検索の指導 1・学校司書による読み聞かせ 1

設問 10. 平成 28 年度に学校図書館システムやその他の方法で公共図書館から本をお借りになったかおたずねします。  
(複数回答可)

ア. 学校図書館システムでの利用 イ. F A X・電話・メール等での利用 ウ. 図書館に来館して利用 エ. 他  
の方法での利用 オ. 借りていない

	学校システム の利用	F A X・ 電話・メールで の利用	図書館へ 来館して利用	他の方法	借りていない
(単位は校)	6	6	4	0	0

※無回答/2

設問 11. 公共図書館と学校図書館のコンピュータシステムの連携についておたずねします。

①平成 27 年度より新システムに移行いたしました，使用のご感想をお答えください。

ア. 以前より使いやすくなった イ. 以前より使いづらくなった ウ. 変わらない エ. 使用していないのでわ  
からない

	以前より 使いやすく なった	以前より使い づらくなった	変わらない	使用していない
(単位は校)	3	1	0	5

※選択肢を選ばず，欄外に「以前のシステムを使用していないため比べられない」のコメント/1

②システム連携を使用されている方におたずねします。どのような場合に使用しますか。

(複数回答可)

ア. 調べ学習の資料予約・取り寄せ イ. 読書指導のための資料予約・取り寄せ ウ. 調査のための検索  
エ. その他

	調べ学習の資 料予約・取り寄 せ	読書指導のための 資料予約・取り寄 せ	調査のため の検索	その他
(単位は校)	4	4	2	0

③システム連携を使用されていない方におたずねします。公共図書館の資料を利用する場合はどの方法が便利で  
すか。(複数回答可)

ア. 電話・F A Xでの問い合わせ イ. メールでの問い合わせ ウ. 図書館に来館して相談  
エ. その他 オ. 公共図書館資料は利用していない

	電話・F A X	メール	図書館に来館	その他	利用していない
(単位は校)	3	1	1	0	0

※無回答/2

設問 12. 公共図書館と学校図書館間のコンテナ便運行についておたずねします。

「学校と市立図書館等連絡協議会」での希望を受け、平成 27 年度より運行しておりますが、使用状況についてお答えください。

①どのくらいの頻度でコンテナ便を使用しますか。

ア. 毎回 イ. 月に 1. 2 回程度 ウ. 一学期に数回程度 エ. 「おはなしの出前」など行事の時のみ  
オ. まだ使用していない

	毎回	月に 1・2 回	一学期に数回	行事の時のみ	まだ使用していない
(単位は校)	2	4	1	0	1

※無回答/2

②コンテナ便の容量や回数についてどうお考えですか。

ア. 容量・回数に不足はない イ. 容量・回数共に不足を感じる ウ. どちらかに不足を感じる (どちらか記入してください) エ. その他

	容量・回数に不足はない	容量・回数共に不足を感じる	どちらかに不足を感じる	その他
(単位は校)	3	2	2	

※無回答/3 「どちらかに不足を感じる」の内訳 容量/1 内容記入なし/1

③ コンテナ便についてご意見があればお書きください。

・学校間の物流も公共図書館と同じように行ってほしい ・学校間だけの物流を効率よく行えるようにしてほしい  
・長期休業期間以外は毎回運行してほしい ・コンテナの大きさについて、1 クラスが 30 人程度と考え、30 冊は入る大きさのものにしてほしい

記入なし/5

設問 13. 公共図書館との連携で要望することがありましたらご記入ください。

- ・出前授業について、事前に書名などを知らせてほしい。また、内容がむずかしいようなのでもう少しやさしいものを取り入れてほしい
- ・学習で使う本は複数購入してほしい
- ・複本に余裕があれば 2 冊以上の貸出をしてほしい 記入なし/6

中学生の皆さんに読書活動に関するアンケート

調査対象 国分寺市立第四中学校  
国分寺市立第五中学校

		1年	2年	3年
アンケート実施人数	5中	138	144	151
	4中	108	140	117
学年合計		<b>246</b>	<b>284</b>	<b>268</b>
アンケート回答数	5中	130	132	148
	4中	106	132	96
回答数合計		<b>236</b>	<b>264</b>	<b>244</b>
アンケート回答率	アンケート回答率	<b>96%</b>	<b>93%</b>	<b>91%</b>

\*該当する項目に○、または数字をご記入ください。

1. あなたは本を読むのが好きですか?

- ①好き            ②どちらかというが好き            ③どちらでもない  
④どちらかというと嫌い            ⑤嫌い

	1年	2年	3年
①好き	110	107	104
②どちらかというが好き	64	61	53
③どちらでもない	35	53	56
④どちらかというと嫌い	11	26	12
⑤嫌い	9	17	14
⑥無回答	1	0	0

2. 最近1カ月の間に、自分で選んで本を借りたり買ったりしましたか?

(授業などで必要なものを除きます。)

- ①はい            ②いいえ

	1年	2年	3年
①はい	157	162	146
②いいえ	74	102	95

3. 「はい」と答えた方は、どんな本を選びましたか?

(複数回答可)

- ① 小説、物語    ②エッセイ    ③歴史、ノンフィクション    ④哲学、自己啓発関連    ⑤自然科学、社会科学  
⑥趣味やスポーツ・ルール等の実用書    ⑦ファッション関連    ⑧雑誌    ⑨その他

	1年	2年	3年	合計
① 小説・物語	142	128	127	397
② エッセイ	2	10	3	15
③ 歴史・ノンフィクション	16	16	8	40
④ 哲学・自己啓発	4	10	5	19
⑤ 自然科学・社会科学	5	6	5	16
⑥ 実用書	21	24	16	61
⑦ ファッション関連	13	7	9	29
⑧ 雑誌	27	25	25	77
⑨ その他	16	17	8	41

※その他／41

マンガ／ 18 教材・図鑑等 参考図書類／5 アニメ関連（公式ファンブック等関連書籍含む）／4  
ライトノベル／ 4 他のメディアのノベライズ／3 怪談・都市伝説・占い等／ 3 映画関連／1 動物に関する本  
／1 ゲーム攻略本／1 具体的書名／1

4. 「いいえ」と答えた方は理由を選んでください。

- ①忙しくて読む時間がないから
- ②読んでいる最中の本があるから
- ③読書に興味がないから
- ④他にやりたいことがあるから
- ⑤今読みたいと思う本がなかったから
- ⑥自分で本を選ばないから
- ⑦その他

	1年	2年	3年
①忙しくて読む時間がないから	14	22	23
②読んでいる最中の本があるから	19	20	19
③読書に興味がないから	13	26	24
④他にやりたいことがあるから	14	23	25
⑤今読みたい本と思う本がなかったから	16	19	25
⑥自分で本を選ばないから	2	6	3
⑦その他	5	4	1
⑧無回答	0	0	2

5. 本の情報はどこから知ることが多いですか？

- ①新刊書店や古本屋さんの店頭
- ②テレビ、新聞・車内吊りなどの広告
- ③インターネット（本の販売サイト、ブログ）
- ④フェイスブックやツイッターなどのSNS
- ⑤友達や家族から
- ⑥図書館の人や先生に聞く
- ⑦その他

	1年	2年	3年	合計
①新・古書店の店頭	106	122	127	355
②テレビ等の広告	50	46	39	135
③インターネット	56	55	53	164
④SNS	15	17	1	33
⑤友人・家族	75	86	9	170
⑥図書館・教員	5	12	6	23
⑦その他	10	13	11	34
⑧無回答	5	3	5	13

※その他／13

映画やドラマを見て原作を探す／5 本の文中やあとがきで紹介されていた情報、本に入っていた新刊広告等／9  
図書館の書架や学級文庫、校内掲示など／6 特に積極的に情報を得ようとしていない／4 偶然・読もうと思ってから探す／9

6. 学校図書館は利用していますか？

- ①はい
  - ②いいえ
- また、①はいと答えた方は最近の1か月で何回利用しましたか



	1年	2年	3年	合計
利用している	126	136	60	322
利用していない	112	116	182	410
無回答	4	0	2	6

利用している場合の頻度

月0～4回（週1以下）	100	82	45	227
月5～9回（週1以上）	14	14	6	34
月10回以上（週2以上）	9	15	6	30
無回答	4	2	3	9

7. 市立図書館は利用していますか？

①はい

②いいえ

また、①はいと答えた方は最近の1か月で何回利用しましたか

	1年	2年	3年	合計
利用している	86	70	65	221
利用していない	143	191	169	503
無回答	7	3	10	20

利用している場合の頻度

月0～4回（週1以下）	69	54	54	177
月5～9回（週1以上）	7	11	4	22
月10回以上（週2以上）	6	2	1	9
無回答	4	3	6	13

8. 7の質問で「はい」だった方は、行った時に何のサービスを利用しましたか？

該当するものすべてに○をつけてください。

①本や雑誌の貸出      ②CDの貸出      ③館内での読書や調べもの、自習

④インターネット      ⑤CD・レコードの試聴（本多・並木図書館のみ）

⑥カウンターでの問い合わせ（レファレンス・サービス）

⑦返却だけ

	1年	2年	3年	合計
① 図書の貸出	53	41	39	133
② CDの貸出	2	6	0	8
③ 館内での自習・閲覧	45	37	44	126
④ インターネット	13	8	2	23
⑤ 試聴	2	1	0	3
⑥ レファレンス	1	1	1	3
⑦ 返却	7	5	5	17
⑧ 無回答	3	4	0	7

9. 市立図書館のホームページやツイッターを見た事がありますか？

- ①どちらも見た事がある                      ②ホームページを見た事がある  
 ③ツイッターを見た事がある                ④どちらも見た事がない

	1年	2年	3年	合計
①どちらも見た事がある	6	8	6	20
②ホームページのみ	35	31	27	93
③ツイッターのみ	5	7	5	17
④どちらも見たことがない	184	217	196	597
⑤無回答	6	1	9	16

10. 市立図書館のホームページから本の予約や貸出期限の延長ができることは知っていますか？※図書館カウンターでのパスワード設定が必要です。

- ①知っていて、使っている                ②知っているが、使っていない                ③知らなかった

	1年	2年	3年	合計
①知っていて使っている	20	14	9	43
②知っているが使っていない	82	82	68	232
③知らなかった	127	167	158	452
④無回答	7	1	9	17

11. 市立図書館のホームページにどんな情報が載っていたら良いと思いますか？

(複数回答可)

- ①おすすめの本のリスト                ②予約の多い本のリスト                ③新着図書のお知らせ  
 ④図書館の利用方法                      ⑤ホームページの利用方法                ⑥イベントのお知らせ  
 ⑦本や作家に関するコラム              ⑧国分寺市が掲載された書籍の情報                ⑨その他

	1年	2年	3年	合計
①おすすめ本リスト	152	167	136	455
②予約の多い本リスト	82	77	49	208
③新着図書	126	153	132	411
④図書館の利用法	25	40	18	83
⑤ホームページ利用法	19	22	7	48
⑥イベント情報	47	39	32	118
⑦本や作家についてのコラム	30	30	17	77
⑧国分寺が掲載された書籍情報	11	14	12	37
⑨その他	11	11	5	27
⑩無回答	12	12	19	43

※その他／27

興味が無い・特になし／10 分類ごとの蔵書リスト／4 試し読み・見出しやあらすじ紹介など本の中身がわかるもの／3 予約・貸出ランキング／2 最新刊など図書館にない本をリクエストできる仕組み／2 カテゴリ別、年齢別や、チャート式で調べるおすすめ本リスト／2 新刊案内／2 アクセスマップ・図書館のフロア案内、図書館の仕事紹介など／2

12. 市立図書館への要望があれば、記入してください。

#### 貸出・選書について

マンガ・ノベライズ本・ライトノベルなども入れてほしい／8

話題の本、新刊が少なすぎるのももっと入れてほしい／5

雑誌を増やしてほしい／3 CDの貸出枚数を増やしてほしい・枚数制限をなくしてほしい／2

参考書があるといい／1 英語の読みものを増やしてほしい／1 DVDの貸出をしてほしい／1

#### 施設・設備について

自習スペースやくつろげるスペースを作してほしい／6 書架の本が見つけづらいので改善してほしい／2

エスカレーターを付けてほしい／1 もっとたくさん宣伝してほしい／1 市内に図書館をもっと増やしてほしい／1

建て替えを検討してほしい／1 いつも利用している。好きな場所／1

パソコン使用者と閲覧する人の机を分けてほしい／1

#### 館内掲示・イベントについて

年代に合わせたおすすめのリストを作してほしい／1 おもしろい本を教えてほしい／1

休館日を一覧表にしてほしい／1 貸出ランキングを貼りだしてほしい／1 作家のイベントを開催してほしい／1

#### その他

図書館の委託はやめてほしい／1 学校図書館と市立図書館で交流を増やしてほしい／1

休館日は少なくしてほしい／1

中学校における読書活動等に関するアンケート (学校司書の皆さまへ)

調査対象

市内中学校図書館司書 計 5/5 校 回答

下記設問 1～9 につき、該当するものすべてに○を、または、( ) 内へのご記入をお願いいたします。なお、数値につきましては、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 平成 28 年度の貴校図書館では夏季・冬季休み中の開館をしましたか。

ア. はい      イ. いいえ  
 はい/5                      いいえ/0

※「はい」のうち「夏期のみ」の回答 3

「夏期のみ、閲覧のみ」1

「夏期休暇・冬期休暇ともに一部開館」1

設問 2. 貴校図書館の運営について仕事内容を教えてください。

- ア. 図書館の管理      イ. 書架整理 (本棚の整理)      ウ. 購入本の選定  
 エ. 購入本の発注      オ. 図書の分類・整理・登録・除籍本処理  
 カ. 図書館の貸出・返却      キ. リクエストの受付・連絡  
 ク. ティーム・ティーチング (教諭と協力して授業を行う) で図書指導  
 ケ. 図書指導担当による読書指導      コ. レファレンス業務 (資料の検索・探し方のアドバイス)  
 サ. 読み聞かせ      シ. 読書案内      ス. 図書館だより発行  
 セ. 図書館内の掲示・季節や行事本の展示      ソ. 図書館利用ガイダンス  
 タ. 市立図書館へ調べ学習用団体貸出の依頼      チ. その他

	図書館の管理	書架整理	本の選定	本の発注	図書の分類・整理・登録・除籍等	貸出・返却	リクエスト受付・連絡
(単位は校)	5	5	5	5	5	5	5
	ティーム・ティーチング	読書指導	レファレンス	読み聞かせ	読書案内	図書館だより発行	館内掲示・本の展示
(単位は校)	4	3	5	2	5	5	5

	図書館利用ガイダンス	市立図書館への調べ学習用団体貸出依頼	その他
(単位は校)	5	4	1

設問 3. 平成 28 年度に学校図書館システムやその他の方法で公共図書館から本をお借りになったかおたずねします。

ア. 学校図書館システムでの利用      イ. FAX・電話・メール等での利用      ウ. 図書館に来館して利用  
 エ. 他の方法での利用 ( )      オ. 借りていない

	学校システムの利用	FAX・電話・メールでの利用	図書館へ来館して利用	他の方法	借りていない
(単位は校)	2	3	2	0	0

※選択肢を選ばず、「借りてはいるが記録が見当たらず詳細不明」のコメント/1



	容量・回数に不足はない	容量・回数共に不足を感じる	どちらかに不足を感じる	その他
(単位は校)	4	0	1	0

※「どちらかに不足を感じる」の内訳 容量/1

③コンテナ便についてご意見があればお書きください。

- ・コンテナ便の回数が週1回では少なく感じる時がある
  - ・調べ学習が重なった場合、コンテナ便が週1回で容量制限があると、とても入りきらず、厳しい
  - ・新年度のコンテナ便運行スケジュールは決まり次第早急に知らせしてほしい
  - ・公共図書館へ送るより学校間の物流に利用している
  - ・荷物を出さない・受け取らない時は寄ってもらわない、など事前連絡で調整できるとよい
- 記入なし/1

設問6. 生徒の発達の遅れに配慮した読書支援としてどのような活動を行っていますか。

ア. 生徒の発達の遅れの状況や特性、生活経験等を考慮した適切な図書の選定を行っている。

イ. 読み聞かせ、ペープサート、パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図っている。

ウ. その他

生徒の発達の遅れの状況や特性、生活経験等を考慮した読書活動の充実を図る実践をしている場合はご記入ください。

	児童の状況・特性・経験等に配慮した選定	読み聞かせ・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図る	その他
(単位は校)	2	0	1

※無回答/2

その他/1

絵本の書架を整備し、本の苦手な生徒にも楽しんでもらえるように絵や写真の多い本も揃えている

設問7. 生徒の図書委員会ではどのような活動をしていますか。

ア. 図書の貸出・返却（昼休み・放課後）

イ. 図書室内飾り付け

ウ. 読書週間・読書旬間の運営（おすすめ本のPR、クイズ・ポスター掲示）

エ. 書架整理（本棚の整理）

オ. おすすめ本の紹介（ポスター作成等）

カ. 委員会活動の記録・広報（児童集会で発表）

キ. 図書館だより作成

ク. その他

	図書の貸出・返却	館内飾り付け	読書週間・旬間の運営	書架整理	おすすめ本紹介	委員会活動の記録・広報	図書館だより作成	その他
(単位は校)	5	5	5	5	5	4	4	2

※その他/2

- ・さまざまなイベントの運営 2
- ・「朝の読書」の進行 1

設問8. 学校図書館だよりや館内外掲示以外で、生徒向けのおすすめ本リストを作成していますか。

ア. 作成している

イ. 作成していない

作成している/3

作成していない/2

設問9. 公共図書館との連携で要望することがありましたらご記入ください。

- ・中学生に人気の本、読んでほしい本、学習に向けた本などの情報交換を、今度とも続けていきたい
  - ・今後ますます「調べてまとめて発表する」学習が増えていくと思われるので、特に調べるための本の情報交換をしたい
  - ・「利用カード」名から、「調べ学習」という文言を抜いてほしい
  - ・公共図書館の「児童担当」の名称を「児童・生徒担当」に変更してほしい
  - ・YAの人気本を教えてほしい（実際に動きのある本、リクエストの多い本など）
- 記入なし/1

中学校における読書活動等に関するアンケート  
(司書教諭の皆さまへ)

調査対象  
市内中学校図書指導担当教諭 計 5/5 校 回答

下記設問 1～10 につき、該当するものすべてに○を、または、( ) 内へのご記入をお願いいたします。なお、数値につきましては、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 平成 28 年度末現在の貴校図書館の蔵書冊数と新規購入冊数を教えてください。

蔵書冊数総計 ( ) 冊)

所蔵冊数	11000 冊以内	～12000 冊	～13000 冊	～14000 冊	14000 冊以上
(単位は校)	0	2	0	2	1

新規購入総計 ( ) 冊)

購入冊数	600 冊以内	～700 冊	～800 冊	～900 冊	900 冊以上
(単位は校)	0	1	1	2	1

設問 2. 貴校図書館の運営について仕事内容を教えてください。

ア. 図書館の運営      イ. 図書館蔵書の把握      ウ. 年間指導計画・図書館予算執行計画作成      エ. 学年の発達段階に応じた図書整備・充実の計画実施      オ. 図書の整理・装備・修理      カ. 読書指導      キ. 読み聞かせ      ク. 図書館だより発行      ケ. 本の選定・購入      コ. 図書館飾り付け      サ. 夏休み推薦図書リスト作り      シ. 読書月間の取り組み      ス. 読書活動の計画と実践      セ. 図書委員会指導      ソ. 読書感想文の取り組み      タ. その他

	図書館の運営	図書館蔵書の把握	年間指導計画・予算執行計画作成	学年の発達段階に応じた図書整備・充実の計画実施	図書の分類・整理・装備・修理	読書指導
(単位は校)	5	3	3	3	3	5

	読み聞かせ	図書館だより発行	本の選定・購入	図書館飾り付け	夏休み推薦図書リスト作り	読書月間の取組
(単位は校)	1	3	4	3	0	1

	読書活動の計画と実践	図書委員会指導	読書感想文の取組	その他
(単位は校)	5	5	1	2

※その他/2

・図書館年間計画及び前年度活動実践作成      ・授業での資料活用

設問 3. 図書指導担当（学校司書）が配置されたことにより、学校図書館を活用しての読書指導や学習内容に変化がありましたか。学校図書館を活用した読書推進の取組などありましたら簡単にご紹介ください。

・毎日開館できるようになった ・国語を中心に、職業調べや修学旅行など行事や総合の時間などでも図書館を利用する場面が増えた ・総合の調べ学習などに向けて参考図書など整備してもらえらる ・図書館での本の貸出数が増えた ・図書委員会活動の充実 ・図書館内の活性化(特別コーナー等の本紹介・飾り付 関連グッズの展示 新聞や雑誌の整理等) ・多岐にわたる本の紹介 ・授業で図書館を活用しやすくなった ・教員からの相談に対応してくれる ・リクエストの早期購入・選定 ・学校図書館の使用は一部の教科にとどまっている ・学校司書が大変精力的に活動していて、読書の啓発や委員会活動が積極的に行われている

設問 4. 生徒は校内で読書する時間がどのくらいありますか。

ア. 授業前の朝読書の時間を実施している イ. 昼休みの読書の時間を実施している ウ. 市民ボランティアによる読み聞かせを行っている エ. 読書週間・読書月間を設けている オ. 特に設けていない カ. その他

	朝の読書の実施	昼休みの読書の実施	教師による読み聞かせ	市民ボランティアによる読み聞かせ	授業前の保護者による読み聞かせ	読書週間・月間を設けている
(単位は校)	5	0	0	0	0	2

設問 5. 公共図書館に、中学生向けの学級文庫セットの用意があることをご存知ですか。

ア. 知っていて、利用している イ. 知っているが、利用していない  
ウ. 知らなかった

	知っていて利用している	知っているが利用していない	知らなかった
(単位は校)	2	2	1

①「ア. 知っていて、利用している」とお答えの方におたずねします。セットの内容等についてどうお考えですか。

ア. 内容・冊数ともに満足 イ. どちらかに不満(どちらかご記入ください)  
ウ. どちらにも不満 エ. セット数(バリエーション)に不満  
オ. その他

	内容・冊数ともに満足	どちらかに不満	どちらにも不満	セット数に不満	その他
(単位は校)	2	0	0	0	0

②「イ. 知っているが、利用していない」とお答えの方におたずねします。利用していない理由をお答えください。(複数回答可)

ア. 学校図書館資料を利用しているから  
イ. 生徒が本を持参しているから  
ウ. セット内容・バリエーションに不足があるから  
エ. 貸出・返却方法が不便だから  
オ. 紛失・汚損の不安があるから  
カ. 校内の設置スペースの問題 キ. その他



	学校図書館資料を利用して いるから	生徒が本 を持参し ているか ら	セット内容・パ リエーション に不足がある から	貸出・返却 方法が不便 だから	紛失・汚損 の不安があ るから	校内の設 置スペー スの問題	その他
(単位 は校)	1	1	0	1	0	0	0

設問 6. 学校として読書への取り組みの事業をされていますか。

(例：読書紹介文、感想画などの展示)

- ア. 行っている                      イ. 行っていない  
行っている/4                      行っていない/0

※無回答/1

①行っている場合は該当するものをお答えください。

- ア. 生徒の読書紹介文作成・展示      イ. 生徒の読書紹介文コンクール  
ウ. 生徒の読書感想画作成・展示      エ. 生徒の読書感想画コンクール

	読書紹介文 作成・展示	読書紹介文 コンクール	読書感想画作成・展示	読書感想画コンクール
(単位は校)	3	1	1	1

※無回答/1

設問 7. 生徒の発達の遅れに配慮した読書支援としてどのような活動を行っていますか。

- ア. 生徒の発達の遅れの状況や特性、生活経験等を考慮した適切な図書の選定を行っている。  
イ. 読み聞かせ、ペープサート、パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図っている。  
ウ. その他、生徒の発達の遅れの状況や特性、生活経験等を考慮した読書活動の充実を図る実践をしている場合は  
ご記入ください。

	児童の状況・特性・ 経験等に配慮した選 定	読み聞かせ・紙芝居・ペープサート・パネル シアター等を行って読書意欲の向上を図る	その他
(単位は校)	3	0	2

※無回答/1

その他/2

- ・ふりがな付きの読み物の提供
- ・絵本の棚を整備するなど本が苦手な生徒にも興味をもってもらえるような工夫をしている

設問 8.

①生徒による異年齢の子どもたちに向けた読み聞かせなどを行っていますか。

- ア. 幼稚園や保育園を訪問し行う      イ. 自校へ幼稚園や保育園の子どもたちを招いて行う  
ウ. 福祉施設を訪問し行う      エ. 図書委員が他生徒に行う      オ. その他

	幼稚園や保育園 を訪問して行う	自校へ園児 を招いて 行う	福祉施設を 訪問し行う	図書委員が他生 徒に行う	その他
(単位 は校)	1	1	0	1	1

※無回答/1

その他/1 特別支援学級の生徒が特別支援学級に訪問，ビッグブックを使って読みきかせを行う

②上記を行う場合，どのような時に行っていますか。

ア. 授業   イ. 職場体験の時   ウ. 行事・イベントの時   エ. その他

	授業	職場体験の時	行事・イベント	その他
(単位は校)	3	0	0	2

※無回答/1

その他/2   ・3年生の家庭科の授業   ・「朝の読書」の時間

設問9. 家庭への読書の啓発に向けた発信をしていますか。

- ア. 保護者会や学級通信を通して，読書の意義を家庭に説明している  
イ. 家庭における読書活動を啓発するための読書会，研修会を行っている。  
ウ. その他   エ. 特に行っていない

	保護者会や学級通信	読書会・研修会	その他	特に行っていない
(単位は校)	2	0	2	1

※その他/2

・保護者用図書館だよりの発行   ・図書館だよりを通じて取組を家庭に知らせている

設問10. 公共図書館との連携で要望することがありましたらご記入ください。

団体貸出について

- ・資料に次の予約がなく，利用頻度が低い資料であれば貸出延長ができるようにしてほしい   ・校内で同一資料を他学年や他教科に使用する場合の貸出方法について改善してほしい   ・記入なし/4

児童館における読書活動等に関するアンケート

調査対象 市内児童館 6 / 6 館

下記設問 1～16 につき該当するものに○を、または（ ）内へのご記入をお願いいたします。なお、数値につきましては平成 28 年度末時点、または、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 児童向け図書／紙芝居の所蔵数についておたずねします。

①所蔵している図書の数（コミック含む） 約（ ）冊

所蔵冊数	1000 冊以内	～2000 冊	～3000 冊	～4000 冊	4000 冊以上
(単位は館)	1	3	1	0	1

②所蔵している紙芝居の数 約（ ）点

所蔵冊数	50 冊以内	～100 冊	～200 冊	～500 冊	500 冊以上
(単位は館)	0	0	1	1	0

設問 2. 児童向け図書／紙芝居の 1 年間の購入数についておたずねいたします。

① 1 年間に購入する図書の数 約（ ）冊

所蔵冊数	10 冊以内	～50 冊	～100 冊	～100 冊以上
(単位は館)	2	4	0	0

② 1 年間に購入する紙芝居の数 約（ ）点

所蔵冊数	5 冊以内	～10 冊	～20 冊	～20 冊以上
(単位は館)	5	1	0	0

<乳幼児とその家族対象事業について>

設問 3. 乳幼児向けの図書（絵本）は、以前より増えていますか。（複数回答可）

ア. 増えている イ. 冊数が減った ウ. 分野が増えていない エ. 汚破損図書が多い オ. その他

	増えた	冊数が減った	分野が増えていない	汚破損が多い	その他
(単位は館)	1	1	3	1	1

※その他/1 寄付された図書と利用されない図書を入れ替えるため冊数の増減はない。

設問 4.

①指導員による、乳幼児とその家族を対象とした絵本の読み聞かせや手遊びなどは、いつ行っていますか。（複数回答可）

ア. 曜日などを決めて定期的に イ. 行事・イベントの時 ウ. 随時 エ. その他

	定期的に	行事・イベント	随時	その他
(単位は館)	5	2	1	0

②指導員以外の方が、乳幼児とその家族を対象とした読み聞かせや手遊びなどを行うことがありますか。  
(複数回答可)

ア. 保護者 イ. 市内のおはなしグループ ウ. 市内の地域・家庭文庫 エ. 個人で活動を行っている  
オ. 市民 カ. 小学生 キ. 中学生 ク. 高校生 ケ. 行っていない

	保護者	市内おはなしグループ	地域・家庭文庫	市民(個人)	小学生	中学生	高校生	その他	行っていない
(単位は館)	0	5	0	0	0	2	0	4	0

※その他/4

- ・親子ひろば職員・ボランティア活動をしてくださる方
- ・実習生(中学生)
- ・地域包括センターの利用者

設問5. おはなし会以外の場で、乳幼児の家族向けに、乳幼児向け絵本の紹介を行っていますか。

ア. している イ. していない  
している/2館 していない/4館

#### 〈小学生対象事業について〉

設問6.

指導員による、小学生を対象とした絵本の読み聞かせなどは、いつ行っていますか。(複数回答可)

ア. 曜日などを決めて定期的に イ. 行事・イベントの時 ウ. 随時 エ. その他

	定期的に	行事・イベント	随時	その他
(単位は館)	0	3	1	2

※その他/2 ・需要があった場合 ・行っていない

設問7.

①指導員以外の方が、小学生を対象とした読み聞かせなどを行うことがありますか。(複数回答可)

ア. 保護者 イ. 市内のおはなしグループ ウ. 市内の地域・家庭文庫 エ. 個人で活動を行っている市  
民 オ. 小学生 カ. 中学生 キ. 高校生 ク. その他 ケ. 行っていない

	保護者	市内おはなしグループ	地域・家庭文庫	市民(個人)	小学生	中学生	高校生	その他	行っていない
(単位は館)	0	2	0	0	0	1	0	1	3

※その他/1 内容の記入なし

②上記を行う場合、どのような時に行っていますか。（複数回答可）

ア. 行事・イベントの時 イ. 職場体験の時 ウ. 曜日を決めてなど定期的に エ. その他

	行事・イベント	職場体験	定期的に	その他
(単位は館)	2	2	1	0

設問 8. 小学生向けの図書はありますか。（複数回答可）

ア. 増えている イ. 冊数が減った ウ. 分野が増えていない エ. 汚破損の図書が多い オ. その他

	増えた	冊数が減った	分野が増えていない	汚破損が多い	その他
(単位は館)	4	2	1	1	1

※その他/1 新規購入はせず汚破損資料や利用のない図書を処分している

#### <中・高生対象事業について>

設問 9. 中・高生向けの図書はありますか。（複数回答可）

ア. 増えている イ. 冊数が減った ウ. 分野が増えていない エ. 汚破損の図書が多い オ. その他

	増えた	冊数が減った	分野が増えていない	汚破損が多い	その他
(単位は館)	2	0	2	0	2

※その他/2 ・辞書のみ所蔵 ・中高生対象とは限定していないがコミック類を所蔵

設問 10. 中・高生向けの読書スペースで、中・高生は読書をしていますか。

ア. している イ. その他 ウ. していない

	している	その他	していない
(単位は館)	4	2	0

※その他/2

- ・専用スペースではないが空いているところで読書している。
- ・専用スペースを設けていないが、活動の合間にコミック本を読む姿が見られる。

設問 11. 中・高生向け読書スペースの広さ・席数・利用状況についてご記入ください。

専用スペースの設置なし/3 館 図書室・図書コーナー/2 館 15 席程度/1 館

設問 12. 指導員向けに、子ども読書の推進に関する研修などを行っていますか。

ア. 職場内での研修 イ. その他 ウ. 行っていない

	している	その他	行っていない
(単位は館)	2	1	4

※その他/1 外部研修

※「行っていない」の回答の下に「興味がある」とのコメント 1 件

設問 13. 他児童館や学童保育所などと、読書に関する情報交換や共同事業などを行っていますか。行っている場合はどのような形か、ご記入をお願いします。

ア. 行っている イ. 行っていない

行っている／3館 行っていない／3館

「行っている」場合の内訳

- ・読み聞かせの市民グループと共同イベント
- ・寄贈図書を、他の学童に譲渡している。
- ・施設間で所蔵している図書を把握し、必要がある際は声を掛け合っている。

設問 14.

①図書館の団体貸出を知っていますか。また、利用したことがありますか。

ア. 利用している（利用したことがある） イ. 知っているが利用したことがない ウ. 団体貸出を知らなかった

	利用している・していた	知っているが利用していない	知らなかった
(単位は館)	2	3	1

②「イ. 知っているが利用したことがない」または「ウ. 団体貸出を知らなかった」をお選びいただいた方におたずねします。団体貸出を利用してみたいですか。

ア. 利用してみたい イ. 利用の予定はない

利用してみたい／2館 利用の予定はない／1館

③「ア. 利用している（利用したことがある）」または「イ. 知っているが利用したことがない」をお選びいただいた方におたずねします。団体貸出に関するご要望があればご記入ください。

利用登録は年度毎でなく1度の登録ですべて利用できるようにして欲しい。／1館

記入なし／1館 特になし／1館

設問 15. 団体貸出以外で、図書館を利用していますか。（複数回答可）

ア. 児童と一緒に来館して本を選んだり、その場で読み聞かせを行っている イ. おはなし会に参加する  
ウ. 図書館による読み聞かせの出前を受けている エ. その他 オ. 利用していない

	児童と来館	おはなし会参加	図書館員の出前	その他	利用していない
(単位は館)	0	1	1	1	4

※その他／1 毎月の児童館だよりの掲示を依頼

設問 16. 図書館へのご要望がありましたらご記入ください。

乳幼児親子に児童館の本を貸し出している。図書の購入に関する事や本の並べ方など、子どもが興味を持つような工夫をアドバイスして欲しい。／1館 ・記入なし／4館

学童保育所における読書活動等に関するアンケート

調査対象 市内学童保育所 17/17 か所

下記設問 1～11 につき該当するものに○を、または（ ）内へのご記入をお願いいたします。なお数値につきましては、平成 28 年度末時点、または、おわかりになる範囲でご記入ください。

設問 1. 児童向け図書／紙芝居の所蔵数についておたずねします。

①所蔵している図書の数（コミック含む） 約（ ）冊

所蔵冊数	200 冊以内	～400 冊	～800 冊	～1000 冊	1000 冊以上
	0	6	11	0	0

②所蔵している紙芝居の数 約（ ）点

所蔵冊数	10 冊以内	～20 冊	～30 冊	～40 冊	所蔵していない
	6	0	1	0	10

設問 2. 児童向け図書／紙芝居の 1 年間の購入数についておたずねします。

① 1 年間に購入する図書の数 約（ ）冊

所蔵冊数	10 冊以内	～50 冊	～100 冊	100 冊以上
	4	10	2	0

※無回答／1

② 1 年間に購入する紙芝居の数 約（ ）点

所蔵冊数	5 冊以内	～10 冊	～20 冊	20 冊以上
	14	2	0	0

※無回答／1

設問 3. 図書／紙芝居の選定についておたずねします。

①購入する図書や紙芝居の選定は、どのように行っていますか。（複数回答可）

ア. 子どもたちの希望を聞く イ. 職員が書店に行く ウ. ブックフェアに行く エ. 出版社などのパンフレットを見る オ. 図書館発行のブックリストを見る カ. 図書館に行き、直接図書や紙芝居を見る（借りる） キ. インターネットから情報を得る ク. その他

子どもたちの希望	書店へ行く	ブックフェア	出版社パンフレット	図書館発行のブックリスト	図書館へ来館	インターネット	その他
17	10	0	2	0	6	6	1

※その他／1 周囲の大人から情報を集める

②選定で困っていることなどがありましたら、ご記入ください。

- ・コミックなどについて、内容が子どもの年齢に合うものか読んで確認する時間がとれない。／2
- ・いじめ問題や命の話、避難訓練など目的を持った活動時に本を利用したいが、いい本が見つけれない。  
／1 ・今のところはない・特になし／4 ・記入なし／10

設問4. 指導員による読み聞かせは、いつ行っていますか。(複数回答可)

- ア. 日常活動の合間に イ. 行事・イベントの時 ウ. 夏期保育期間中の昼寝前 エ. その他  
※その他／1 帰りの会の最中・時間に余裕のある時

日常活動の合間に	行事・イベントの時	夏期保育期間中の昼寝前	その他
12	4	9	1

設問5. 指導員が、読み聞かせ以外にパネルシアターや以下のようなものを行いますか。

① 行っているものに○をお願いします。(複数回答可)

- ア. パネルシアター イ. エプロンシアター ウ. ペープサート エ. 素話(ストーリーテリング) オ. 手遊び・わらべうた カ. その他 キ. 行っていない

パネルシアター	エプロンシアター	ペープサート	素話	手あそび・わらべうた	その他	行っていない
4	2	0	1	5	1	7

※無回答／1

その他／1 毎月のおはなし会でボランティアさんが手遊び・紙芝居・素話等実施

② 上記を行う場合、どのような時に行っていますか。(複数回答可)

- ア. 日常活動の合間に イ. 行事・イベントの時 ウ. その他

日常活動の合間に	行事・イベントの時	その他
2	7	0

※無回答／1

設問6.

①指導員以外の方が読み聞かせを行うことがありますか。(複数回答可)

- ア. 保護者 イ. 市内のおはなしグループ ウ. 市内の地域・家庭文庫 エ. 個人で活動を行っている市民 オ. 異年齢の子どもによる カ. その他 キ. 行っていない

保護者	おはなしグループ	地域・家庭文庫	市民(個人)	異年齢の子ども	その他	行っていない
0	7	2	2	4	2	5



※無回答/1

その他/2 ・図書館職員 ・光図書館職員

「行っていない」の回答に「今後実施予定」のコメント1件

②上記を行う場合、どのような時に行っていますか。（複数回答可）

ア. 行事・イベントの時 イ. 職場体験の時 ウ. 曜日等を決めて定期的に エ. その他

行事・イベントの時	職場体験の時	曜日等を決めて定期的に	その他
5	1	3	3

※その他/3 ・日常活動の合間に 2 ・帰りの会の時 1

設問7. 保護者に絵本の紹介をしていますか。

ア. している イ. していない

している/4 していない/12 ※無回答/1

設問8. 他学童保育所や児童館などと、読書に関する情報交換や共同事業などを行っていますか。行っている場合はどのような形かご記入をお願いします。

ア. 行っている イ. 行っていない

行っている/4 行っていない/12 無回答/1

※「行っている」場合の内訳

・他施設の見学 ・人気の本などを他施設の職員に聞いて選定の参考にしている ・併設児童館のおはなし会に参加している ・内容記入なし/1

設問9.

①図書館の団体貸出を知っていますか。また、利用したことがありますか。

ア. 利用している（利用したことがある） イ. 知っているが利用したことがない

ウ. 団体貸出を知らなかった

利用している・利用したことがある	知っているが利用したことがない	知らなかった
7	7	3

②「イ. 知っているが利用したことがない」または「ウ. 団体貸出を知らなかった」をお選びいただいた方におたずねします。団体貸出を利用してみたいですか。

ア. 利用してみたい イ. 利用の予定はない

利用してみたい/5 利用の予定はない/5

③「ア. 利用している（利用したことがある）」または「イ. 知っているが利用したことがない」をお選びいただいた方におたずねします。団体貸出に関するご要望があればご記入ください。

・事前連絡なしで利用できるようにしてほしい ・お昼の時間帯も利用したい  
・貸出期間を3ヵ月間にしてほしい ・ビッグブックの貸出冊数を増やしてほしい  
・年度始めが一番忙しく図書館へ行きづらいため、年度始めに利用登録手続きを行うのではなく前年度中に登録更新と年度をまたいだ貸出をしてもらえると新一年生への読み聞かせに活用できる  
記入なし/8 特になし・今のところなし/2

設問 10. 団体貸出以外で、図書館を利用していますか。(複数回答可)

- ア. 児童と一緒に来館して本を選んだり、その場で読み聞かせを行っている  
 イ. おはなし会に参加する ウ. 図書館による読み聞かせの出前を受けている  
 エ. リサイクル本をもらいに行く オ. その他 カ. 利用していない

児童と来館	おはなし会参加	図書館からの出前	リサイクル本	その他	利用していない
4	5	2	2	4	11

※その他/4

- ・児童だけで来館している
- ・夏休みの映画会参加 2
- ・行事で使用する本を探しに行く

設問 11. 図書館へのご要望がありましたらご記入ください。

記入なし/13 特になし・今のところなし/2 図書館への謝辞/2

地域・家庭文庫及び、おはなしグループ・PTAサークル等における  
読書活動等に関する調査

調査対象

地域・家庭文庫 3 / 3 団体  
おはなしグループ・PTAサークル 8 / 8 団体

\*以下の質問について、該当するものに○を、または記述をお願いいたします。

1. 地域・家庭文庫の活動現状について（地域・家庭文庫 3 / 3 団体回答）

①活動日時

	月1回程度	週1回程度	月2回
(単位は団体)	0	2	1

②活動場所

	自宅等	自治会施設
(単位は団体)	2	1

③文庫に来る主な子どもの年齢層（複数回答可）

	0～3歳児	4～6歳	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
(単位は団体)	2	3	2	1	0

④活動内容（複数回答可）

	わらべうた	読み聞かせ	手あそび	本の貸出	おはなし会
(単位は団体)	3	3	2	1	1

	工作	季節の行事
(単位は団体)	1	1

⑤他の団体・機関（公共図書館含む）と協働を行っていますか

はい / 3      いいえ / 0

「はい」の場合の相手先

・市立図書館 / 3      ・学童保育所 / 1      ・保育園 / 1

2. おはなしグループ・PTAサークル等の活動現状について

（おはなしグループ・PTAサークル 8 / 8 団体回答）

① 学校に出向いて活動をしていますか

はい / 7      いいえ / 1

「はい」の場合の相手先校（複数回答）

一小／1 四小／2 五小／2 六小／1 八小／1 九小／1 十小／1  
三中／1 校名記入なし／1

②活動日時について（複数回答可）

ア. 朝の読書の時間 イ. 授業中（図書の時間など） ウ. 放課後 エ. その他

	朝の読書の時間	授業	放課後	その他
（単位は団体）	1	3	3	3

※その他／3

- ・サマースクール
- ・放課後子どもプラン
- ・学校公開
- ・学校キャンプ
- ・平日の午前中に打ち合わせを行っている

③活動している場所はどちらですか（複数回答可）

※その他／1 打ち合わせにPTA相談室を使用  
記入なし／1

	教室	図書室	多目的ホール	音楽室	その他
（単位は団体）	5	3	2	1	1

④他の団体・機関（公共図書館含む）と協働を行っていますか

はい／4 いいえ／3 無回答／1

「はい」の場合の相手先（複数回答可）

・市立図書館／4

・公民館／2

・児童館／1

⑤他の団体・機関に出向いて活動をしていますか

している／3

していない／4

「している」場合の活動日時

・年1～2回／1

・週1回／1

・記入なし／1

「している」場合の活動場所

・高齢者施設／1

・市内公共施設／2

・国分寺子育て支援事業者連絡協議会／1

・国分寺市社会協議福祉会／1

・こくぶんじ市民活動センター／1

・市民活動フェス／1

・子どもこそだて円卓会議／1

### 3. 「第二次子ども読書活動推進計画」策定後の事業・事項について

（地域・家庭文庫・グループ・サークルを合わせた11/11団体）

① 「第二次子ども読書活動推進計画」が策定されてから4年が経過します。

以前よりも充実した事業・事項等ありましたらご記入ください。

（※団体が特定されるような記述を省き、要略させていただいた部分があります。）

- ・コンテナ便で図書を運んでいただけるようになり、大変便利になった。
- ・市立図書館のY

Aのコーナーの充実、機関紙、コーナーの工夫など、YAへのよびかけが感じられる。・子ども家庭支援センターとの連携で、「親子ひろば」に参加するようになったところ、文庫への参加が小さい子の親子さんも多くなった。・大きい子への対応（小さい子の参加が多くなると、自然と大きい子が来なくなる）を充分にし、大きい子も満足するよう、考えるようになった。工作も、小さい子も出来て、大きい子も楽しめる中身のあるものを考えている。・発足当時より図書館からの本の準備・貸出などのサポートを受けている。・学校・図書館との連携が充実したかの点では4年間で充実した事業は発生することはなく、現状維持だったと感じている。・残念ながら以前の方が、小学校へ出前の授業に行くなど充実していた。通常の文庫活動は変化していない。・特に小学校図書館による子どもたちの図書環境の充実が感じられる。・学校司書の配置、図書利用学習の理解の浸透があると思う。・「おはなしの出前」で読書に興味を持つ子の増加、低学年からお話を集中して聞ける態度が身についてきていると感じる。・保育園児が保育の時間に図書館を来訪したり、図書館での「お話会」に参加することが増えた。小さい時から日常に本やお話を聞く機会があることは素敵です。・市立図書館職員と中学生図書委員が協力して作ったおすすめ本リスト「厳選!!FAVORITE BOOKS」に、市立図書館の更なる学校との連携、子どもたちへのいざないの方向性を感じた。・学校図書館に学校司書が配置されたことで、図書室環境が整備され、サークルとの連携もとれるようになった。学校の備品、図書室の図書、備品の貸出もスムーズに受けられるようになっている。・サークル発足時は、放課後子どもプランのプログラムにおはなし会を提供するためという事で「市の事業」とされ、学校との連携が取りにくかった。また市立図書館からも、継続的な活動と見なされず、支援をうけにくい時期があった。「子ども読書活動推進計画」策定と、地域や保護者の活動により、目が向けられるようになり、徐々に校内外の認知度も向上し、以前よりも活動しやすくなっている。

- ②「第三次子ども読書活動推進計画」についてのご意見がありましたらご記入ください。  
(※団体が特定されるような記述を省き、要略させていただいた部分があります。)

#### 学校司書連絡会の充実

・年3～4回、学校を会場にして開き、学校司書が研鑽をつんでいることを大変ありがたく思っていたが、縮小の方向へ進んでいると聞いた。市内の学校図書館が同じレベルに保たれ、子どもたちが市内のどの学校に転校しても格差がないよう市民として切に願う。

#### 西国分寺周辺に、市立図書館の設置を

・マンモス校もあり、人口の急増した西国分寺に市立図書館を。都立多摩図書館の蔵書はすばらしいが、貸出不可である。

#### 蔵書の充実

・各館に（注・現在、絵本以外の洋書は一館のみ収集）学校の教科書に出てくるものなど外国語図書を所蔵してほしい。・0～2歳児向けの絵本を充実させてほしい。

#### 広報に配慮を

・講演会終了後にチラシが手元に届いたりされたりすることのないよう留意してほしい。第一報はFAX・メール等の活用を。

#### おはなし会や行事などでの連携継続

・市立図書館が好意的に関わっていると感じている。今後も継続してほしい。

#### 市立図書館と学校、文庫・グループとの連携

・充実した事業ができるよう、図書館がアドバイスし、文庫・グループと、学校との連携の機会を作るようにしてほしい。・文庫・グループの活動内容を図書館が把握し、学校へ推薦するような仕組みを作ってほしい。・学校により、読書環境に差が出ないように、教育委員会・学校指導課などを通して、この計画が浸透するようはたらきかけてほし

- い。 ・図書館と文庫・グループの協働が重要であるので、もっと機会を増やしてほしい。
- い。 ・図書館と連携した事業の機会を増やせるよう、専任職員の体制を整えてほしい。

#### **支援体制の整備**

- ・安定した支援体制を整えてほしい。そのため、図書館職員を確保してほしい。 ・
- 行政内の子どもにかかわる部門の連携を進めてほしい。 ・市内他団体・都立多摩図書館との連携を仲立ちしてほしい。

#### **市立図書館ホームページの充実**

- ・市内で行われているお話会の場所・時間をわかり易く掲載して欲しい。

用語解説 (50 音順)

用語	初出 ページ	解説
朝の読書	5	学校において毎朝始業前 10 分程度の時間を利用して、全校の児童生徒と教師が一斉に自分の好きな本を読むという読書推進活動。(図書館情報学用語辞典より)
アニメーション	24	ラテン語でアニマ (anima) = 魂・生命。アニメーション (animasion) は、魂・生命に息を吹き込み生き生きと躍動させること。読み聞かせ、ブックトークなどの、これまでの読書活動より、積極的に物語の世界に入り込んで自由に活動する手法の一つ。主人公と一緒に冒険を楽しんだり、物語についてのゲームやクイズを作るなどの活動をおして物語の世界にいき、楽しもうとする手法。
エプロンシアター	21	舞台に見立てた胸当て式エプロンに物語の背景とマジックテープを縫い付け、演じ手がポケットから人形を取り出してエプロンに貼り付けながら物語を演じる人形劇。(図書館情報学用語辞典より)
LLブック (エルエルブック)	資料編 18	「LL」とは、スウェーデン語の「LättLäst」(英語では easy to read) の略。「LLブック」とは、誰もが読書を楽しめるように工夫してつくられた、「やさしく読みやすい本」のことを指す。 日本語が得意ではない人や、知的障がいのある人をはじめとした、一般的な情報提供では理解が難しいさまざまな人にとっても読みやすいように作られている。
おはなしグループ	7	拠点を置いて貸出をしたりはしないが、図書館や地域の学校、児童館、家庭で、定期的に絵本の読み聞かせや、紙芝居、素話、わらべうた等を行っているグループを総称して、市立図書館では「おはなしグループ」と呼んでいる。
おはなしの出前	12	おはなしグループ、市民ボランティアが学校などに出向いて、絵本などの読み聞かせのほか、おはなし(素話)、手遊びなどを行う。(図書館の出前事業と区別をするために市立図書館で定義したもの)
親子ひろば	21	市内の小中学校区に、いろいろな施設を活用してプレママ・プレパパや乳幼児の親子が気軽に立ち寄ることができ、安心して遊べ、交流できる場として開放されているところ。(国分寺市のHPより)
家庭読書の日	9	教育委員会が定めた教育 7 DAYS の中で 11 月上旬の 1 週間を国分寺市の図書館では「家庭読書の日」と定め、家庭において親子で読書を楽しむ日とした。
国分寺市図書館運営協議会	40	市立図書館の運営に関し、広く市民の意見を反映させるための教育委員会の諮問機関。

用語	初出ページ	解説
コンテナ便	11	学校の調べ学習な 市立図書館と学校間を結ぶ、資料運搬のための交換便。調べ学習などで、学校が市立図書館から資料を借りる時、返却する時にこの便を使う。
サマースクール	12	地域をふるさとと実感し、学校・地域の一員として誇りを持たせるために、地域や関係団体の協力を得ながら学校が行っている夏の行事。
ストーリーテリング、素話、語り	資料編 6	語り手（ストーリーテラー）が物語を覚えて語り聞かせること。（図書館用語集）おはなし（昔話や創作の物語）を語り手が自分のものとして覚え、本を見ずに聞き手に語って聞かせること。肉声で語られることによって、語彙や語感が豊かになり、集中力、想像力を育て、読書の素地を作ることができる。
世界ともだちプロジェクト	6	東京都による、オリンピック東京 2020 年大会に向けた学習プログラム。大会参加予定国・地域について幅広く学び、実際の国際交流に発展させる取組を行う。 世界の様々な人種や言語、文化、歴史などを学び、世界の多様性を知るとともに、様々な価値観を尊重することの重要性を理解することが目的。
地域・家庭文庫	7	住民が自宅等を開放し、自主的に活動する、子どもたちの読書活動の場。
DAISY (デイジー)	7	Digital Accessible Information System の略。 視覚障害者や活字の印刷物を読むことが困難な人々のためのデジタル録音図書国際標準規格。CDに音声吹き込み、検索機能をつけたデジタル録音システム。
出前	7	市立図書館職員または、地域文庫やおはなしグループの市民が図書館職員とともに学校に出向き、絵本などの読み聞かせのほか、ブックトーク（テーマに沿って複数の本の紹介を行う）、市立図書館の利用案内などを行う。
「DOH」	15	（ドー）と読む。「この本ドー？」「この本ドーだ！」「この本ドーぞ！」という意味で、国分寺市立図書館YA（ヤングアダルト）世代向けのおすすめ本リーフレットのこと。



用語	初出 ページ	解説
「DOH+」	16	(ドープラス)と読む。「DOH」のプラス版。概ね16歳から18歳が対象。テーマ別に編集した、YA(ヤングアダルト)世代に向けたブックリスト。
としょかん福袋	12	国分寺市教育委員会で定めた、「教育7DAYS」の中で、市立図書館が11月上旬の一週間を「家庭読書の日」とし、それにちなんで図書館職員が対象年齢を決めた図書を中身が分からないように袋に入れて貸出す事業。
パスファインダー	13	ある特定のテーマについての資料や情報を収集する手段を示した情報探索ツールのこと。
パネルシアター	21	フланネルを貼ったパネルボードに、不織布に描いた人形などを貼ったり外したりしながらおはなしや歌遊びを展開する道具。
ビブリオバトル	24	本を紹介するコミュニケーションゲーム。発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まり、順番に一人5分間で本を紹介し、それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行い、全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。(ビブリオバトルの公式サイトより)
ブックトーク	資料編 17	子どもや成人の集団を対象にして、何冊かの本の内容を紹介すること。学校のクラスや読書会などの集団に対して行われる、正式な形のブックトークでは、特定のテーマに沿って、5～7冊程度の本を順序良く組み合わせ、あらすじや著者紹介などを交えて、本への興味を起こさせる工夫をすることが大切である。(以上は図書館用語集より)季節や行事、学習課題などの一つのテーマに沿って複数の本の紹介をすること。本を読みたいという気持ちを引き起こし、作者や関連分野に興味を持つことができる。
不読率	2	1か月で1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合。全国学校図書館協議会と毎日新聞社が実施した「学校読書調査」、文部科学省委託調査「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」の結果が、文部科学省の「子供の読書活動推進に関する有識者会議」より「子供の読書活動に関する現状と論点」として紹介されている。

用語	初出 ページ	解説
ペープサート	21	人形劇の一種。割ばし等の串の両面に同一人物の異なった動作の絵を描いた厚紙を貼ったうちわのようなもので演ずる平絵人形劇。保育や教育の現場では活用される教材の一つである。
放課後子どもプラン	25	『放課後子どもプラン』は文部科学省「放課後子ども教室」と厚生労働省「放課後児童健全育成事業」との連携事業。小学校において、放課後に学校や地域の協力を得て、「学びの場」「遊びの場」「交流の場」「体験の場」を実施。また、『地域子ども教室』では「子どもの居場所づくり」として放課後子どもプランの補完的な位置づけで市民協働で行っている。
マルチメディアDA I S Y (デイジー)	7	視覚障害や学習障害など、様々な原因で、印刷物を読むことが困難な人のための電子書籍規格の一つ。音声とともに文字や画像が表示され、読み上げているフレーズの色が変わり、どこを読んでいるかが一目でわかるデジタル図書。
YA (ヤングアダルト)	14	児童と成人の中間に位置づけられる、概ね12歳から18歳までをいう。
読み聞かせ講習会	9	学校等で、朝の読書などで子どもたちに向けて読み聞かせを行う保護者を対象に、本の選び方や読み方を学ぶために国分寺市の図書館が主催する連続講座。平成27年度から、事前申し込みによる託児を行っている。
リーディング トラッカー	31	読みたい行に集中して読めるように、両隣の行の文字を隠して読み進める読書補助具。読むことが苦手な子ども、集中しづらい子どもが本を読むときに使用することにより、現在読んでいる場所がわかる。
リーディングルーペ	資料編 18	前出の、リーディングトラッカーに、小さく細かい文字を拡大する機能を追加したもの。
リテラチャー サークル	資料編 18	1990年代アメリカ発祥の読書指導法。3～5人のグループが同じ本を読んで話し合う活動。自分の読みを伝え、友だちの読みを聞くことによって自然に上手な読み方、伝え方ができるようになる。グループ内で、役割分担を決め、ワークシートに書き込みながら進める。
わいわい文庫	7	配慮の必要な児童への読書支援のために作成され、全国の学校・図書館等に寄贈されている、マルチメディアDA I S Y。

平成 31 年 3 月 22 日 教育委員会決定

## 第三次国分寺市子ども読書活動推進計画

発行日 平成 31 年 4 月  
発行 国分寺市教育委員会  
編集 国分寺市教育部図書館課

〒185-0011 東京都国分寺市本多 1-7-1  
TEL 042-324-2022 FAX 042-322-8202  
国分寺市立本多図書館